

**2021年度  
事業報告**

**社会福祉法人麦の子会**



## 目 次

目 次 .....	3
2021年度の主なトピック .....	4
I 法人運営 .....	6
II 児童部門（幼児） .....	10
III 児童部門（学童） .....	21
IV 生活支援部門 .....	34
V 成人部門 .....	40
VI 社会的養護部門 .....	56
VII 医療・地域・相談部門 .....	61

## 2021年度の主なトピック

### ①北川聡子総合施設長が理事長に就任しました

2021年6月の理事会において、北川聡子理事長が選任されました。これまで法人設立時から20年以上に渡り、麦の子会を支えて頂いた田村元前理事長に深謝いたします。4代目理事長である北川聡子理事長は、社会福祉法人設立前の麦の子会創設メンバーであり、新たな決意を持って理事長に就任しました。これまでより一層子ども達や、利用者さん、家族の困り感や、存在そのものに寄り添えるよう、支援の質の向上、職員教育、人材育成、組織の改善改革、様々な支援組織や団体におけるリーダーシップ、国や行政における児童福祉、障害福祉への政策提言などを精力的に行っています。

### ②人事考課制度を導入しました

2020年度より人事考課制度の準備をはじめ、2021年度春から人事考課を実施しました。Ⅰ期末、Ⅱ期末、Ⅲ期末にそれぞれ自己評価を行い、それをグループマネージャー以上で評価した上で、ディレクター層が最終的に評価を決定しました。Ⅱ期の評価結果を、処遇改善費の配分に反映させ、12月の賞与と合わせて支給しました。

管理職層全員が、職員の育成の意識を醸成し、職員一人一人を大切にしていこうという意識の向上と育成の責任を認識する機会となりました。

### ③西尾記念ビルが完成しました。

2022年1月に「西尾記念ビル」が完成しました。アメリカの心理セラピストである故西尾和美先生が、是非トラウマ臨床の知見とスピリットを継承して欲しいとの思いから麦の子会に建物建築費用として約1億円のご寄付を頂いていました。約20年前に心理支援、家族支援の重要性を気づかせていただいた西尾先生のご意志を引継ぎ、グループカウンセリングや個人カウンセリング、妊娠SOS事業を実施しています。2階「ニシオ・キネン・ホール」には西尾先生の衣装や著書が常設されています。妊娠SOS事業には建設資金として日本財団からの助成金約4000万円と備品整備資金としてベルズ基金（日本財団内基金）より約600万円の助成も頂いています。

### ③スワンビルが完成しました。

2022年3月に「スワンビル」が竣工しました。老朽化していたスワンカフェ&ベーカリーの移転先として建設され、建設資金として国庫補助金1億2220万円をいただいています。1階はスワンカフェ&ベーカリー移転先で、店舗工事が2022年8月に完成予定です。2階は生活介護ハーベストガーデンが旧ハーベストガーデンから移転し、2022年4月より活動しています。3階は「シンフォニー」（放課後等デイサービス）と、ショートステイホームハーベストガーデン（短期入所事業、定員3名）に2022年4月より開設しています。

### ④メディアに数多く紹介されました

北川理事長が理事長に就任以降、メディアに数多く紹介されました。理事長就任直後には北海道新聞の日曜版の特集に大きく掲載されました。8月には北川理事長が日本経済新聞主催のウーマンオブザイヤー2022を受賞しました。その効果のためもあってか、北川理事長に対する取材、むぎのこの支援に対する取材が大変多く、新聞、雑誌、Webメディア等に記事が多数掲載されました。このことで障がいのある人や仕事に光があたり、障がいのある人達の魅力や、福祉の仕事の魅力を伝えることを願います。

### ⑤妊娠SOS事業が創設されました

6月より妊娠SOS事業が開設されました。思いがけない妊娠、望まれない妊娠等の相談を電話やLINEを通じて、2021年度は543件の相談を受けています。（2

022年度は5月末まで184件)2組の母親と赤ちゃんの居所支援を行いました。生まれた赤ちゃんは母親の受入が可能になるまで麦の子のファミリーホームで一時保護委託として支援を行いました。2022年1月の西尾記念ビル竣工により、同建物3階に妊婦と赤ちゃんのための居所支援「リリア」が設置されました。2022年度も既に2件の居所支援を行っており2名の赤ちゃんを育てています。

#### ⑥PRD室が創設され、業務改善が進みました

6月から新たな部署としてPRD(企画・研究・開発)室を設置し、北川史花室長が就任しました。前職の大手経営コンサルタント会社での経験を生かし、職員数630名を超える「大企業」としての組織運営のため、業務改善や意識改革、人材開発、システム導入等精力的に取り組み、西尾リプロセス研究所主催の研修開催、アジア会議などの重要な外部折衝もおこなっています。

抽象度の高い業務だけではなく、大変かつ重要な現場には必ず赴き、体を使いながら的確なアセスメントと問題解決を図っています。

2022年度は室長補佐も加わり、更なる業務改善、組織開発を目指します。

# I 法人運営

## 1. 理事会・評議員会の開催及び監事監査の実施

### (1) 役員構成

2021年4月1日～6月26日

- ① 理事：田村元（理事長） 北川聡子（常務理事） 古家好恵 山崎千恵美  
木村瑞穂 高田隆一
- ② 監事：末永仁宏 向谷地生良
- ③ 評議員：尾崎祐一 金田光夫 田澤泰明 中原明 長谷川寛治 藤井康弘 光増昌久

2021年6月26日～

- ① 理事：北川聡子（理事長） 古家好恵（常務理事） 山崎千恵美 高本美明  
木村瑞穂 高田隆一
- ② 監事：末永仁宏 向谷地生良
- ③ 評議員：遠藤光博 尾崎祐一 金田光夫 田澤泰明 中原明 藤井康弘 米山明

### (2) 評議員会の開催

定時評議員会（2021年6月26日（土））

ア. 報告事項

- (1) 2020年度事業報告

イ. 審議事項

- (1) 監事監査報告の件
- (2) 2020年度決算承認の件
- (3) 理事・監事選任の件
- (3) 定款変更の件

書面決議1（2021年9月29日付）

ア. 決議事項

- (1) 議事録署名人について
- (2) 基本財産の追加、担保提供の件
- (3) 定款変更の件

書面決議2（2022年3月7日付）

ア. 決議事項

- (1) 議事録署名人について
- (2) 福祉医療機構からの借入のための土地及び建物担保提供の件

### (3) 理事会の開催

第1回理事会〈定例1（書面）〉（2021年6月5日（金）付）

ア. 報告事項

- (1) 業務執行報告 (2) 人事報告

イ. 審議事項

- (1) 前回議事録承認の件
- (2) 2020年度事業報告の件
- (3) 2020年度決算報告の件
- (4) 監事監査報告の件
- (5) 任期満了に伴う理事及び監事候補者選定の件
- (6) 評議員選任解任委員選任の件
- (7) 定時評議員会日程の件
- (8) 定時評議員会議案の件
- (9) 定款変更の件
- (10) 西尾記念ホール新築工事に係る入札の件
- (11) 就業規則改定の件

- (12) 経理規程改定の件
- (13) 運営規程・重要事項説明書変更の件
- (14) ジャンプレッツ（就労移行支援）工賃適正額検討の件
- (15) 今年度理事会日程の件

## 第2回理事会〈臨時1〉（2021年6月26日）

### ア．審議事項

- (1) 理事長選任の件
- (2) 常務理事選任の件
- (3) 一時保護児童受入施設開設の件
- (4) グループホーム用不動産（戸建中古物件）購入の件

## 第3回理事会〈臨時2〉（2021年6月28日（金））

### ア．審議事項

- (1) 西尾記念ホール及び妊娠SOS相談窓口・宿泊施設新築工事入札結果承認及び契約締結の件

## 理事会書面決議1（2021年7月26日（月））

### ア．審議事項

- (1) （仮称）麦の子会複合施設入札の件

## 第4回理事会〈定例2〉（2021年8月20日（金））

### ア．報告事項

- (1) 理事長及び業務執行理事の職務遂行状況について
- (2) 人事報告
- (3) 会計報告
- (4) 監事監査報告

### イ．審議事項

- (1) 前回議事録承認の件
- (2) グループホーム要不動産（建売物件）購入の件
- (3) 就業規則一部改定の件
- (4) 給与規程一部改定の件
- (5) 次回理事会日程の件

## 第5回理事会〈臨時3〉（2021年8月23日（月））

### ア．審議事項

- (1) （仮）ハーベストガーデンビル新築工事入札結果承認及び契約締結の件の件
- (2) 書面決議による評議員会実施の件

## 第6回理事会〈定例3〉（2021年11月19日（金））

### ア．報告事項

- (1) 理事長及び業務執行理事の職務遂行状況について
- (2) 人事報告
- (3) 会計報告
- (4) 監事監査報告

### イ．審議事項

- (1) 前回議事録承認の件
- (2) 2021年度第1次補正予算の件
- (3) 障がい児里親等委託推進モデル事業実施の件
- (4) 仮称ハーベストガーデン新築工事に伴う福祉医療機構借入金の条件確認の件
- (5) 施設整備積立金取崩の件
- (6) 難聴児支援のための検査室設置工事の件
- (7) 運営規程及び重要事項説明書変更の件
- (8) 次回理事会日程の件

## 第7回理事会〈定例4（書面）〉（2022年2月10日（木）付）

### ア．審議事項

- (1) 前回議事録承認の件

- (2) グループホーム住居フラナガン移転及び運営規程変更の件
- (3) 給与規程改定の件
- (4) 評議員会書面決議の件
- (5) 次回理事会日程の件

#### 第8回理事会〈定例5〉(2022年3月22日(火))

##### ア. 審議事項

- (1) 前回議事録承認の件
- (2) 2021年度第二次補正予算の件
- (3) 2022年度事業計画の件
- (4) 2022年度予算案の件
- (5) 国の処遇改善政策による給与引き上げの件
- (6) 諸規程改定の件
- (7) スワンビル新築に伴う新規事業開設の件
- (8) 札幌市障害児フォスタリング事業受託の件
- (9) 事業所移転及び事業所名称変更の件
- (10) 当別町子ども発達支援センター見積合わせ応諾の件
- (11) 次回理事会日程の件

#### (4) 監査・指導の実施

実施者	監査実施日	監査項目
末永 仁宏 監事	①2021年 5月 27日 ②2021年 8月 4日 ③2021年 11月 4日 ④2022年 2月 2日	法人定款第18条の規定に基づき、2018年度事業に係る理事の業務執行の状況及び法人の財産の状況。
向谷地生良 監事	①2021年 5月 27日 ②2021年 8月 11日 ③2021年 11月 18日 ④2022年 2月 8日	法人定款第18条の規定に基づき、2018年度事業に係る理事の業務執行の状況。
公益財団法人児童育成協会	2021年9月29日	むぎのこ保育園(企業主導型保育園)
札幌市児童相談所	2021年11月2日	ガブリエルホーム(ファミリーホーム) ベーターホーム(ファミリーホーム)
公益財団法人児童育成協会	書面と電話による監査 2021年11月18日～	むぎのこ保育園(企業主導型保育園)
札幌市子ども未来局	2021年12月14日	むぎのこ保育園(企業主導型保育園)
札幌市 ・ 監査指導室 ・ 障がい福祉課	書面による監査 2022年1月8日書類提出	法人 むぎのこ児童発達支援センター 居宅訪問型児童発達支援むぎのこ 児童デイサービスむぎのこ
札幌市 ・ 監査指導室 ・ 障がい福祉課	書面による監査 2022年1月19日書類提出	札幌市みかほ整肢園(医療型児童発達支援センター) (札幌市の指定管理)

#### (5) 助成・補助金

受入事業所	交付団体等	助成・補助金内容	助成額
生活ハーベスト	札幌市	令和3年度国庫補助等施設整備費	122,200,00円
SS むぎのこ	札幌市	令和3年度障害者等受入促進事業	3,000,000円
ファミリーホーム	札幌市	令和3年度環境改善事業補助金	1,882,405円
法人	札幌市	令和3年度札幌市障害者総合支援事業費補助金	1,085,000円
全事業所	札幌市	令和3年度感染症防止補助金	240,000円
妊娠SOS	日本財団	日本財団建物助成	40,650,000円

妊娠 SOS 事業	日本財団	妊娠 SOS 事業運営補助金	8,360,000 円
法人	日本財団	ベルズ基金	5,753,691 円
法人	日本財団	ベルズ基金	1,196,309 円
むぎのこ発達クリニック	北海道国保連合会	新型コロナ個別接種促進事業	800,000 円
法人	独立法人高齢・障がい者・求職者雇用支援機構	障害者雇用調整金	3,888,000 円
法人	北海道労働局	雇用開発助成金	200,000 円

#### (6) 主な施設・事業所整備事業

事業所名	工事名	請負業者	工事価格
ハーベストガーデン シンフォニー ショートステイホームハー ベスト	麦の子会複合施設 A 棟新築 工事	岩田地崎建設(株)	218,416,000 円
妊娠 SOS 事業 西尾心理臨床研究所	麦の子会複合施設 B 棟新築 工事	岩田地崎建設(株)	170,219,400 円

#### (7) 入札（一般・指名）執行状況

入札名	落札業者名	契約金額
ハーベストガーデンビル新築工事 (麦の子会複合施設 A 棟)	岩田地崎建設(株)	205,700,000 円

## 2. 事業運営

### (1) 第 2 種社会福祉事業

- 1) 障害児通所支援事業の経営
- 2) 障害福祉サービス事業の経営
- 3) 小規模住居型児童養育事業の経営
- 4) 移動支援事業の経営
- 5) 相談支援事業の経営

### (2) 公益事業

- 1) 診療所の設置経営
- 2) 日中一時支援事業の設置運営
- 3) 札幌市障がい児等療育支援事業
- 4) 当別町こども発達支援センター専門職員指導業務
- 5) 当別町こども発達支援センター発達支援専門員派遣業務
- 6) 認可外保育園の設置経営
- 7) 西尾リプロセス心理臨床研究所の設置運営
- 8) 札幌市あかしあ学園の給食調理業務
- 9) 妊娠 SOS 相談事業

## Ⅱ 児童部門（幼児）

### むぎのこ児童発達支援センター（児童発達支援事業）

#### 1. 施設利用状況

##### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	54	54	54	55	54	55	57	57	57	58	59	59	56.0
北区	15	15	15	15	15	15	17	17	17	17	17	17	16.0
西区	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.2
手稲区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
中央区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2.0
千歳市							1	1	1				0.25
計	74	74	74	72	75	76	79	79	79	79	80	80	76.7

##### (2) 利用延べ人数

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
合計	1220	1145	1357	1200	1161	1228	1397	1388	1238	1208	1124	1204	14,870

(単位 人)

#### 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童発達支援 管理責任者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	常勤	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6
保育士	常勤	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
栄養士	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	非常勤	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
保育士	非常勤	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
指導員	非常勤	6	6	7	7	7	7	7	8	8	8	12	12
調理員	非常勤	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
その他	非常勤	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4
合計		44	44	44	44	44	44	44	45	45	44	50	50

#### 3. 支援業務

##### (1) 個別支援計画の策定

- ・年2回作成、前期後期それぞれ評価、面接を行い同意を頂いた。
- ・計画に基づいた療育、保護者に子育てへのアドバイスをを行うことが出来た。

##### (2) 主な日中活動

- ・基本 朝の会、リズム、絵本の読み聞かせ、公園遊び（遊具遊び、水遊び、鬼ごっこ、探索散歩、そり遊び）
- ・室内遊び（サーキット 大根抜き はないちもんめ じゃんけん列車 ハンカチ落とし）
- ・園庭（ターザンロープ、水運び、泥んこ遊び、プール遊び、そり遊び）
- ・親子遊び（とっちゃんかっちゃん ギッタンパッコン、たけこがはえた、バス遊び でこちゃん はなちゃん、ふくすけさん ぞうきん )

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	始業式 避難訓練
5月	父親参観週間、お誕生会、避難訓練 園医健診
6月	美香保遠足 お誕生会、避難訓練
7月	避難訓練
8月	I期終業式、II期始業式、避難訓練
9月	親子発達支援 運動会、避難訓練
10月	避難訓練 三角山遠足 お誕生会
11月	生活発表会総練習、避難訓練、お誕生会 園医健診
12月	生活発表会 大避難訓練、コンサドーレ来園、クリスマス会、もちつき、お誕生会、II期終業式
1月	III期始業式、お正月会、避難訓練、父親参観週間
2月	豆まき、お誕生会、避難訓練
3月	ひなまつり、卒園感謝会、避難訓練、修了式・離任式、お誕生会

4. 施設設備管理業務

- ・火災報知器、消火器の点検(法定点検年2回)

5. 防災対策

(1)防火管理者の状況

職名	園長	氏名	北川聡子	選任届出年月日	2015年4月17日
----	----	----	------	---------	------------

(2)非常災害に対する訓練の状況

(2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
R3・4・23	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	R3・10・15	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
R3・5・21	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	R3・11・19	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
R3・6・18	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	R3・12・17	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
R3・7・16	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	R4・1・21	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
R3・8・20	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	R4・2・18	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
R3・9・17	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	R4・3・18	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
職員会議	毎月1回	12回		管理者・児童発達支援管理者・保育士・児童指導員	18名	
クラス会議	週1回	168回		管理者・児童発達支援管理責任者・保育士・児童指導員	15名	クラスごとに開催(3~4名)
ケースカンファレンス会議	必要時	40回		管理者・児童発達支援管理責任者・保育士・児童指導員	15名	クラスごとに開催(3~4名)
個別支援計画会議	前期 後期	2回		管理者・児童発達支援管理責任者・保育士・児童指導員	13名	
児童発達支援管理責任者会議	月1回	12回		児童発達支援管理責任者	1名	

7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法

## 8. 評価と展望

### 評価

- ・昨年同様コロナ禍だったが、電話や訪問など例外的な報酬算定を行い、安定した運営を行う事ができた。
- ・片倉先生のコンサルテーションでは、自閉症児の個別の関わりを教えて頂き、個別課題を数名に取り組む事ができた。
- ・SV体制をとり、クラスでの良い事や難しかった事も全体で共有する事で職員同士も一致して支援を行う事ができた。

### 展望

- ・引き続き、法人全体で感染防止を行い、子どもたちの安全を守っていく。また、障がいのある子どもたちもコロナ禍の中安心して生活していけるよう、マスクをつける練習を取り入れていく。
- ・引き続き、Gmgがオブザベーションを行い、子どもや家族のより良い支援につなげていく。また、学びの場を提供して、支援力の向上に努めていく。
- ・子どもや家族の困り感に寄り添って、「共に生きる」むぎのこのミッションを実行していく。

## 保育所等訪問支援

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数(新規:0)

〈新規〉

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
東区													0
計													0

〈延べ〉

(単位 人)

区市町村	延べ	(新規)
東区	18	(0)
北区	3	
中央区	1	
計	22	(0)

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

月	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
計										1	2	1	4

### 2. 支援業務

#### (1) 訪問支援計画(個別支援計画)の策定

- ・利用ニーズを把握し、アセスメントを実施し、調整会議を経て計画書を作成した。

#### (2) 主な活動

- ・障がい児に対する支援(直接支援:集団生活に適応するための専門支援)を実施した。
- ・訪問先施設の職員に対する支援(間接支援:支援方法等の支援)を実施した。

### 3. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童発達支援管理責任者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
事務	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
訪問支援員	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

指導員	常勤												
保育士	常勤												
保育士	非常勤												
合計		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

#### 4. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	

#### 5. 評価と展望

- ・訪問支援のニーズを把握し、アセスメントに基づき、訪問支援を実施した。
- ・ニーズに応じた、支援量の確保が困難。
- ・学校への保育所等訪問支援のニーズはあるが、人的保障が得られず対応は困難。
- ・コロナ感染拡大予防の対応とし、訪問数を抑制した。

### 児童デイサービスむぎのこ(児童発達支援事業)

#### 1. 施設利用状況

##### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	22	24	26	28	29	31	31	32	32	31	31	31	29
北区	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
中央区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
厚別区	1	1											0.2
措置	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3.8
計	31	33	35	37	39	40	40	41	41	40	40	40	38.2

##### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	186	181	234	240	231	280	300	278	245	236	238	276	2925

#### 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サービス管理責任者	常勤												
児童指導員	常勤	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2
児童指導員	非常勤	12	12	12	12	12	11	10	10	10	9	9	9
指導員	非常勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
保育士	常勤	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
保育士	非常勤	9	9	9	9	9	9	9	9	9	10	10	10
作業療法士	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
心理士	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
栄養士	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
その他	非常勤	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
合計		44	44	44	44	44	43	43	43	43	43	43	43

### 3. 支援業務

#### (1) 個別支援計画の策定

- ・年2回(3月・9月)、個別支援計画を作成した
- ・保護者との面接で、子どもや療育への希望の聞き取りを行った
- ・8月・2月にモニタリングを行った
- ・個別支援計画に基づいて、療育や保護者支援を行った

#### (2) 主な日中活動

- ・朝の会、リズム、園庭遊び(ターザンロープ、泥遊び、水運び、シート滑り、そり滑り)
- ・設定遊び(粘土遊び、わらべ歌遊び、サーキット、楽器遊び)
- ・制作(季節の制作)

#### (3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	入園式、お誕生会、カーペンター、避難訓練
5月	遠足、お誕生会、父親参観、避難訓練、
6月	お誕生会、避難訓練
7月	お誕生会、避難訓練
8月	I期終業式、II期始業式、お誕生会、避難訓練
9月	運動会、お誕生会、避難訓練
10月	遠足、お誕生会、カーペンターズ、避難訓練、運動会
11月	お誕生会、生活発表会、避難訓練
12月	もちつき、お誕生会、クリスマス会、II期終業式、避難訓練
1月	III期始業式、お正月会、お誕生会、大避難訓練
2月	豆まき、お誕生会、避難訓練
3月	ひな祭り、お誕生会、避難訓練、III期修了式、卒園感謝会、卒園式

### 4. 施設設備管理業務

- ・消防設備の総合点検を年2回行い、7月の結果報告書を消防署に届け出をした。
- ・毎月、自主点検を行った。

### 5. 防災対策

#### (1) 防火管理者の状況

職名	管理課長	氏名	古家 健司	選任届出年月日	2019年4月1日
----	------	----	-------	---------	-----------

#### (2) 非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
R3・4・23	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	R3・10・15	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
R3・5・21	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	R3・11・19	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
R3・6・18	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	R3・12・17	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
R3・7・16	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	R4・1・21	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
R3・8・20	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	R4・2・18	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
R3・9・17	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	R4・3・18	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他

### 6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
クラス会議	毎週水曜日	50		児童発達支援管理責任者・児童指導員	3	
個別支援計画会議	年2回	2		児童発達管理責任者・児童指導員	3	
児童発達支援管理責	月1回	1	2	児童発達管理責任	1	

任者会議				者		
職員会議	月 1 回	1 2		児童発達管理責任者・児童指導員	3	

## 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	なし

## 8. 評価と展望

### 〔評価〕

- ・事業所経営：4月当初は利用人数が少なかったが、6月以降随時入園児を受け入れ、安定した利用人数で、運営する事が出来た。
- ・子ども1人1人を療育の中でしっかりアセスメントして、必要な支援や関わりを行なう事が出来た。
- ・職員がCSPに取り組む事は勿論、家族支援の中でもCSPを共有し、般化する事で子どもとの肯定的な関わりを心掛ける事が出来た。
- ・緊急性の高い家庭への家庭訪問や、泊りの対応など臨機応変に行なう事ができた。

### 〔展望〕

- ・家族支援では、家族の背景を理解した中で対策を考え、ニーズにあった支援を継続して行なっていく。また、こまめに情報共有を行い、職員、パートの連携を大切にする。
- ・職員同士声を掛け合い、目と目心と心を大切に連携してチームで子どもの支援に取り組む。
- ・必要な支援を実際に受けられるまでに間があいてしまわないようにスピーディに対応していく。

## プレイ(児童発達支援事業)

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	35	35	36	38	40	42	43	44	44	45	46	46	41
北区	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
白石区	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0.6
中央区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
手稲区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
措置	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
計	43	43	44	46	49	51	52	53	53	54	55	55	49.6

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	204	191	230	237	206	253	269	265	204	236	199	238	2732

## 8. 評価と展望

### 〔評価〕

- ・年度初めは利用人数が少なかったが、夏ごろから契約児童が増え、安定した利用人数で運営することができた。
- ・半数以上の家庭に対して事業所内相談支援をほぼ毎月行うことができた。
- ・家族支援が必要な家庭に対して、関係機関と連携しながら家族支援を行うことができた。
- ・療育の中や、保護者との面談で子どもや家庭をアセスメントして、職員間で関わり方を統一して支援することができた。

〔展望〕

- ・困り感のある家庭が今後も多く通園する事が予測されるので、家族の背景を理解した中で対策を考え、ニーズにあった支援を継続して行なっていく。また、こまめに情報共有を行い、職員、パートの連携を大切にする。
- ・職員同士声を掛け合い、目と目心と心を大切に連携してチームで子どもの支援に取り組む。
- ・職員が研修に積極的に参加し、様々な学びを深めて支援に活かしていく。

セーボネス(児童発達支援事業)

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	8	8	8	10	11	11	11	11	11	11	11	11	10.2
北区	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2.25
西区							1	1	1	1	1	1	1
措置	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	3.1
計	14	14	14	15	16	16	17	17	17	17	17	18	16

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	180	164	202	208	181	202	248	217	187	201	198	227	2415

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・運営面→安定した子どもの人数で運営することが出来た。
- ・子ども一人一人に合わせてアセスメントをし、療育することが出来た。
- ・家族支援では、お母さんの背景や生い立ちを面談で把握し、支援につなげることが出来た。
- ・部下育成では、一人一人と個別に話をする時間を取り、育成に努めた。

〔展望〕

- ・発達支援で大事にしている CSP を用いた関わりを行い、子ども達に肯定感を持つ事が出来る療育を行う。
- ・子どもや家族が利用できる機関を職員で把握し、困り感のある家庭により良い支援を行っていく。
- ・毎月、毎日の書類はクラス職員で確認し、確実に進めて行くよう連携していく。

スタディ(児童発達支援事業)

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	9	10	10	10	10	11	11	11	11	11	11	11	10.5
北区	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2.75
中央区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
手稲区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
措置													
計	13	14	14	15	15	16	16	16	16	16	16	16	15.25

## (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	198	179	215	213	197	214	257	243	217	216	184	197	2530

## 8. 評価と展望

[評価]

- ・職員の急な長期休みにも、連携して対応する事が出来た。
- ・子どもの特徴に合わせて、愛着障害の研修等、職員が参加して学びを深める事で、支援に活かす事が出来た。
- ・季節ごとの活動は、感染症の流行に配慮しながらも、継続的に設定する事が出来た。
- ・保護者と定期的な面談で、困り感や子どもの状況について話し合う事が出来た。
- ・次年度年長の年齢になるので、次担任に丁寧な引継ぎをする事が出来た。
- ・子どもに合わせた対応を、職員同士で声を掛け合う事で、一致して行なう事が出来た。

[展望]

- ・発達支援については、継続して職員同士一致して取り組む事が出来る体制を取っていく。
- ・子ども1人1人に優しい関わりを心掛けるよう、パート職員にも意識出来るよう話していく事が大切であると感じた。
- ・子ども達が自己主張を強く出す時でも、大人は冷静で優しく連携していく事が大切である。
- ・書類整備等も、支援の上で大切なので、より明確に分担して行なう必要があったと感じる。

## ライラック(児童発達支援事業)

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
中央区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	231	192	269	234	228	228	259	251	219	213	182	230	2736

## 8. 評価と展望

[評価]

- ・事業所経営：安定した利用人数で、運営する事が出来た。
- ・子ども1人1人を療育の中でしっかりアセスメントして、必要な支援や関わりを行なう事が出来た。
- ・職員がCSPに取り組む事は勿論、家族支援の中でもCSPを共有し、般化する事で子どもとの肯定的な関わりを心掛ける事が出来た。
- ・困り感の高井家庭に対して月1回の事業所内相談支援を行う事が出来た。

[展望]

- ・家族支援では、家族の背景を理解した中で対策を考え、ニーズにあった支援を継続して行なっていく。また、こまめに情報共有を行い、職員、パートの連携を大切にする。
- ・職員同士声を掛け合い、目と目心と心を大切に連携してチームで子どもの支援に取り組む。
- ・職員が研修に積極的に参加し、様々な学びを深めて支援に活かしていく。

## シーランチ(児童発達支援事業)

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	16	16	15	15	15	15	15	15	15	14	14	14	14.9
北区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
中央区	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.1
措置													
計	19	19	17	17	17	17	17	17	17	16	16	16	17

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	245	214	257	230	212	217	229	186	177	204	145	222	2538

### 8. 評価と展望

〔評価〕

- ・事業所運営：利用人数が安定し、安定した事業所運営ができた。
- ・コロナウイルスの感染等もあったが、例外的な報酬算定を行い、安定した運営を保つことができた。
- ・発達支援：SCALE や褒める関わりを意識し、日々の活動や年長活動から、子どもたちの自己肯定感や自信に繋げ、仲間意識や相手を思いやる気持ちを育んだ。
- ・クラス会議などで、子どもの様子を共有したり、エピソード記録を書き、子どもの想いや自分の気持ちを振り返る機会となり、支援に繋げていった。
- ・家族支援：事業所内相談支援や電話連絡で、家族の困り感や想いをキャッチし、支援に繋げた。就学への不安にも寄り添って、サポートしていった。

〔展望〕

- ・困り感のある家庭が今後も多く通園する事が予測されるので、家族の背景を理解した中で対策を考え、ニーズにあった支援を継続して行なっていく。また、こまめに情報共有を行い、職員、パートの連携を大切にする。
- ・職員同士声を掛け合い、目と目心と心を大切に連携してチームで子どもの支援に取り組む。
- ・職員が研修に積極的に参加し、様々な学びを深めて支援に活かしていく。

## ヨシア(児童発達支援事業)

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	14	14	14	14	14	14	14	13	14	14	14	14	14
北区													
中央区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	15	15	15	15	15	15	15	14	15	15	15	15	15

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	228	208	258	242	234	228	259	227	215	237	189	239	2764

## 8. 評価と展望

〔評価〕

- ・事業所経営：安定した利用人数で、運営する事が出来た。
- ・子ども1人1人を療育の中でしっかりアセスメントして、必要な支援や関わりを行なう事が出来た。
- ・職員がCSPに取り組む事は勿論、家族支援の中でもCSPを共有し、般化する事で子どもとの肯定的な関わりを心掛ける事が出来た。
- ・ほとんどの家庭に対して月1回の事業所内相談支援を行う事が出来た。

〔展望〕

- ・困り感のある家庭が今後も多く通園する事が予測されるので、家族の背景を理解した中で対策を考え、ニーズにあった支援を継続して行なっていく。また、こまめに情報共有を行い、職員、パートの連携を大切にする。
- ・職員同士声を掛け合い、目と目心と心を大切に連携してチームで子どもの支援に取り組む。
- ・職員が研修に積極的に参加し、様々な学びを深めて支援に活かしていく。

## ライオン〈児童発達支援事業〉

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	11	11	11	12	12	12	11	11	12	12	12	12	12
北区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
措置	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	14	13	13	14	14	14	13	13	13	13	13	13	13

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	168	161	237	213	188	216	236	244	219	206	199	224	2511

## 8. 評価と展望

〔評価〕

- ・コロナの影響もあり、登園を控えている児童がいたため、利用率が低くなっていた。
- ・子ども達が自己主張があり、クラスの構造化を意識する必要があり、MGにクラスに入ってもらって、クラスの構造化や愛着障がいの子どもに対してどのように関わるかコンサルテーションを受けてどのように関わるかをクラス全体で意識した。

〔展望〕

- ・コロナ禍と云うことを受けて、例外的報酬算定をとれない場合でも、今後も保護者と連絡を取り、保護者の安心感に繋げていく。
- ・職員が愛着障がいや構造化についても学び、練習して子どもたちに適切な関わりを持つ。

## ライオン(重心対応)〈放課後等デイ・児童発達支援〉

### 1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	11	11	11	11	11	11	11	11	10	10	10	10	11
北区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
西区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
措置	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	15	15	15	15	15	15	15	15	14	14	14	14	15

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	174	150	177	159	110	144	151	139	122	124	112	124	1585

### 8. 評価と展望

〔評価〕

- ・子どもたちを効果的に褒めていくことを繰り返し行うことによって子どもたちが自信を持ち自己主張をすることができるようになった子が多くなってきた。
- ・医療的ケアのある子どももいたが、安全に留意して行う事ができた。

〔展望〕

- ・コロナで安全に配慮していきながら活動をしているがこれからも安心、安全を心掛けて子どもたちの生活を保障していく。
- ・お母さん方のお話を聞いてきながら家族支援を行っていく。
- ・医療的ケアのある子どもに安全に対応していく。
- ・

## Ⅲ 児童部門(学童)

### プレイ〈放課後等デイサービス〉

#### 1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
北区	7	6	6	5	5	5	5	6	6	6	6	6	5.75
計	20	19	19	18	18	18	18	19	19	19	19	19	18.75

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	246	224	274	248	225	248	273	249	247	234	217	241	2926

## 8. 評価と展望

### 〔評価〕

・CSP を用いた支援を行うことが出来た。フロントでの、毎日個別のスキル練習、全体でのスキル練習、設定前に予防的教育法を行うことで、子どもたちの出来る事が増えた。

・保護者向けに、グルカン、個別支援計画面談などで、お母さんたちとの交流を図り、コミュニケーションを増やし、子どもの情報のやり取りを増やすようにした。グルカンの参加率はコロナ渦のため、低くなるが、電話連絡などを通して、子どもの情報の共有を図った。お父さんとの面談も数回行えた。

・不登校の子どもたちへの支援として、アールでの支援、学校支援や学校への付き添いなどを行った。子ども達の気持ちや心の整い方などを考慮して、自尊心が下がらないように、プレイでも、達成感を学習、学びの時間、外活動などで得られるように配慮した。

### 〔展望〕

・CSP を基礎として、むぎのこでの療育の基本、弧の形、先頭中間最後、人数確認などを用いた支援をしていく。フロントでの、具体的なターゲットスキルに基づいたスキル練習で、子どもたちに必要な社会スキルを学び、褒める回数を増やし、人間関係を築いていきたい。

・保護者にも、グループカウンセリング・CSP への参加してもらい、子どもたちとの関係性をより良いものにしていくためにも、継続して、参加を促す声掛けを行うようにし、お母さんたちの困り感に寄り添った支援をしていく。

・不登校の子どもたちの支援として、不登校支援アールや学校や保護者とのやり取り、また学校支援の担当職員と連携し、一人一人が自信をもって生きていく事が出来るように、支援していく。

## スタディ〈放課後等デイサービス〉

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	9	10	10	10	10	11	11	11	11	11	11	11	10.5
北区	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2.75
中央区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
手稲区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
措置													
計	13	14	14	15	15	16	16	16	16	16	16	16	15.25

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	198	179	215	213	197	214	257	243	217	216	184	197	2530

## 8. 評価と展望

### 〔評価〕

- ・職員の急な長期休みにも、連携して対応する事が出来た。
- ・子どもの特徴に合わせて、愛着障害の研修等、職員が参加して学びを深める事で、支援に活かす事が出来た。
- ・季節ごとの活動は、感染症の流行に配慮しながらも、継続的に設定する事が出来た。
- ・保護者と定期的な面談で、困り感や子どもの状況について話し合う事が出来た。
- ・次年度年長の年齢になるので、次担任に丁寧な引継ぎをする事が出来た。
- ・子どもに合わせた対応を、職員同士で声を掛け合う事で、一致して行なう事が出来た。

### 〔展望〕

- ・発達支援については、継続して職員同士一致して取り組む事が出来る体制を取っていく。
- ・子ども1人1人に優しい関わりを心掛けるよう、パート職員にも意識出来るよう話していく事

が大切であると感じた。

- ・子ども達が自己主張を強く出す時でも、大人は冷静で優しく連携していく事が大切である。
- ・書類整備等も、支援の上で大切なので、より明確に分担して行なう必要があったと感じる。

## ライラック〈放課後等デイサービス〉

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
北区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
措置													
計	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	218	203	239	236	205	224	248	213	229	209	190	206	2878

### 8. 評価と展望

〔評価〕

- ・受け入れのフロントから宿題までの流れを明確に示し、構造化を図る事で、職員で役割分担が出来、子どもたちが落ち着いて活動出来るようになった。
- ・活動と活動の合間に、個別や小集団でスキル練習を行い、適応行動に繋がった。
- ・事業所内相談支援や電話連絡を通して保護者と話し合い、支援を行う事が出来た。

〔展望〕

- ・構造化を維持し、構造化が適切かどうかをクラス会議で見直しながら、子どもの学習や活動参加の意欲に繋げていく。
- ・登園自体に行き渋りがある子どもの家庭への支援を法人全体で共有し、チームで行う。
- ・保護者に対して、グループカウセリング、CSPへの参加を促し、社会スキルが身に着くように家庭と事業所で連携を取り、共通した関わりに繋げていく。
- ・不登校の子ども達の支援としてアレーを利用し、利用時の様子を職員間で引継ぎ、クラスでの様子と交えて保護者や学校支援の職員に伝えて、登校へ不安に寄り添えるようにしていく。

## ユスタバ〈放課後等デイサービス〉

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	16	16	16	16	14	14	14	14	14	14	14	14	15
北区	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
措置	1	1	1	1	3	2	2	2	2	2	2	2	2
計	20	20	20	20	20	19	19	19	19	19	19	19	19

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	218	171	222	250	208	221	231	220	200	185	158	176	2460

## 8. 評価と展望

### 〔評価〕

- ・小学校2年生の事業所として、保護者や学校と連携を行い、子どもやその家族をサポートすることが出来た。
- ・措置児の事で児童相談所や家庭、学校、他クラスと連携して支援を進めることが出来た。
- ・事業所の構造化を進めるに当たって、理事長、グループマネージャーからのアドバイスもあり、活動の縦（時間）や横（内容）の軸を意識して行うことで、クラスの構造化、スケジュールが子ども達にとってわかりやすくなった。

### 〔展望〕

- ・今後、学年が上がる事により。学習面での困難さが出てくる子どもに対しての支援を個別に用意して行っていく必要がある。
- ・コロナウイルスの感染拡大が予想される為、法人の方針に則り、事業所での消毒、感染予防を徹底していく。
- ・年度が変わり職員が変わっても今年行っている構造化やタイムスケジュールを意識して活動を組み立てていく必要がある。

## ハーモニー〈放課後等デイサービス〉

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	25	23	23	23	22	22	22	22	22	22	22	23	22.6
北区	14	14	14	14	13	13	13	13	13	13	13	13	13.3
西区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
中央区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
手稲区	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
措置	1	1	1	1	6	6	6	6	6	6	6	6	4.3
計	47	45	45	45	48	48	48	48	48	48	48	49	47.2

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	278	288	325	312	262	277	283	300	281	263	231	235	3335

## 8. 評価と展望

### 〔評価〕

- ・多学年クラスなので、年齢や発達に合わせた活動を意識した。
- ・子ども同士で手を繋ぐ等、仲間を意識できるような支援をした。
- ・見通しを持ち活動に集中できるよう構造化をして進めた。
- ・スキル練習、予防的教育法、効果的な褒め方を意識して関わりを持つことで、問題行動が減った。
- ・ショートステイ、ヘルパー等、と連携し、子どもの発達支援や家族支援などを多面的な視点で行った。相談室と連携をとり、子どものQOLの向上のために何が必要であるかを話し合った。

### 〔展望〕

- ・子どもの出来る力を信じて、ADLの向上を目指す。
- ・事業所内相談支援等で積極的に保護者とのコミュニケーションを取り、家族との共通認識を持てるよう働きかける。

ピッピ〈放課後等デイサービス〉

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
北区	1	1	1	1	1	3	3	3	3	3	3	3	2.1
措置	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	16	16	16	16	16	18	18	18	18	18	18	18	

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	214	177	215	177	172	262	228	204	217	183	167	212	2432

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・ 小学校5、6年生の子ども達が通所していたため、事業所に到着する時間にばらつきがあったが、職員が活動内容を調整することで、全員で活動することを多く行えた。
- ・ 定期的の実験を取り入れ、興味関心を引き出すことが出来た。
- ・ 構造化を行い、フロントから活動までの流れを子ども達がわかりやすいように工夫することが出来た。
- ・ 予防的教育法を行うことで適応行動が増え、その行動を効果的に褒める場面が多かった。
- ・ 学校休業日の活動では、バスを利用し、百合が原公園やモエレ沼公園などの活動を行い、楽しい雰囲気を職員が意識した。
- ・ 事業所内相談支援を計画的に行い、お母さんたちと面談し、子どもの成長している姿の共有や、家庭で困っていることの相談などの話し合いをすることが出来た。

〔展望〕

- ・ 子ども一人一人の特徴を職員で共有しながら、気持ちに寄り添って支援していくことを引き続き行っていく。
- ・ 家族支援では、事業所内面談を定期的に行い、保護者の困り感や育児不安に寄り添っていく。
- ・ 運営面では、書類の確認を正確にこまめに行っていく。

シーランチ〈放課後等デイサービス〉

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
北区	8	8	8	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7.25
手稲区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
計	23	22	22	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21.3

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	246	224	275	250	225	250	275	249	249	218	117	222	2860

## 8. 評価と展望

〔評価〕

- ・小学校1年生～5年生の子ども達が通所していたため、事業所に到着する時間にばらつきがあったが、職員が活動内容を調整することで、全員で活動することを多く行えた。
- ・構造化を行い、フロントから活動までの流れを子ども達がわかりやすいように工夫することが出来た。
- ・予防的教育法を行うことで適応行動が増え、その行動を効果的に褒める場面が多かった。
- ・学校休業日の活動では、バスを利用し、百合が原公園やモエレ沼公園などの活動を行い、楽しい雰囲気を職員が意識した。
- ・事業所内相談支援を計画的に行い、お母さんたちと面談し、子どもの成長している姿の共有や、家庭で困っていることの相談などの話し合いをすることが出来た。

〔展望〕

- ・子ども一人一人の特徴を職員で共有しながら、気持ちに寄り添って支援していくことを引き続き行っていく。
- ・家族支援では、事業所内面談を定期的に行い、保護者の困り感や育児不安に寄り添っていく。
- ・運営面では、書類の確認を正確にこまめに行っていく。

### ヨシア〈放課後等デイサービス〉

#### 1. 施設利用状況

##### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	16	16	16	16	16	17	19	19	19	19	19	19	17.58
北区	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
措置	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
計	22	22	22	22	22	23	25	25	25	25	25	25	23.58

##### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	233	209	258	234	214	237	262	220	248	224	182	224	2535

## 8. 評価と展望

〔評価〕

- ・時間軸と場面の構造化し子ども達へ伝える事もわかりやすく、環境や動きもわかりやすくしたことで、子どもたちが落ち着いて活動出来るようになった。
- ・スキル練習を行うことで子どもたちの適応行動が増えたと共に自分自身で考える事が増えてきた。
- ・不登校の子ども達への支援として、アールでの支援、学校支援や学校への付き添いなどを行った。子ども達の気持ちに寄り添い、関わりを多く持つていく事で安心感につながるようになってきた。
- ・グループカウンセリングや電話連絡を通して保護者と話し合い、支援を行う事が出来た。

〔展望〕

- ・動きに合わせての構造化を行い、子どもたちにとってわかりやす構造となるように組み立てていく。
- ・学習の時間を確保し、学習を楽しめるようにしていく。
- ・保護者にもグループカウセリング、CSPへの参加をしてもらい、子ども達との関係性をより良いものしていくためにも、継続して参加を促す声掛けを行っていく。
- ・不登校の子ども達の支援として不登校支援アールや学校や保護者とのやりとり、また学校支援の担当職員と連携し、子ども達の自己肯定感を支える支援を行っていく。

チェリーブLOSSAM〈放課後等デイサービス〉

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	72
北区	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	22
措置	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6
計	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	233	224	259	244	217	249	237	228	223	146	180	234	2674

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・中、高校生の事業所として療育を行った。利用者は昨年度から引き続いてる利用者が多かったが新中1年生で新たに契約した利用者が多かったので、特別に配慮が必要な子など、環境に慣れるようにその都度ケースカンファレンスを行い、個別での対応を行った。学習の支援では個別に適したプリントを用意して毎日繰り返す事で達成感や自信を持てるように支援を行えた。
- ・CSPをベースにした療育プログラムを取り入れ、フロント、ミーティング、社会スキルのスキル練習を取り入れ、毎日行えた。予防的教育法の練習を習慣化づける事で社会スキルの獲得に繋げた。
- ・保護者からのニーズに合わせて学校と連携して利用者の話を聞く時間や機会を設けて、問題を解決するとともに信頼関係を築く事が出来た。

〔展望〕

- ・学校生活の中で不安を抱えた子ども、保護者の方へ、丁寧にに関わり問題を解決する中で、子どもも保護者も安心感をもてるように支援していく。
- 事業所内相談支援やグループカウンセリングなどで保護者から話を聞く機会を設けていき、ニーズを聞き、即対応していく。
- ・CSPをベースに、子どもが社会スキルを習得できるように繰り返し練習を行う。
- ・利用者が職員に安心して自分を表現できるように丁寧に話をしながら支援を行う。
- ・本人の発達に合った学習課題を提示して達成感や自信が持てるように職員が励ましながら目をかけていく。

スカイブルー(第1・2単位)〈放課後等デイサービス〉

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	12	12	12	12	12	12	14	14	15	15	15	15	12.3
北区	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1.4
措置	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
計	17	17	17	17	17	16	18	18	19	19	19	19	17.75

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	225	215	265	219	209	224	264	227	246	238	223	242	2797

## 8. 評価と展望

### 〔評価〕

- ・ 昨年の構造化を引き継ぎつつ、子どもたちが座って活動する流れに改良を重ね、クラス全体で一緒に取り組めることが増えた。
- ・ 社会スキルの練習を活動の合間に行い、適応行動が増えた。
- ・ 不登校の子どもたちが安心して登校出来る様に優しく関わり、部分的にはあるが登校できる回数の増加が見られた。
- ・ 保護者の要望に応じて事業所内相談を昨年より多く取り入れることが出来た。

### 〔展望〕

- ・ 構造化の維持を行い、変更や変化へ対応出来るようにしていく。
- ・ 学習の時間をしっかりと確保し、学習を楽しめるようにしていく。
- ・ 登園自体に行き渋りがある子どもの家庭への支援を法人全体で共有し、チームで行う。

## ハイジ(スカイブルー第3・4単位)〈放課後等デイサービス〉

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	14	14.9
北区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
手稲区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
措置	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
計	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	247	223	268	243	224	251	268	242	244	228	204	236	2878

## 8. 評価と展望

### 〔評価〕

- ・ 受け入れのフロントから宿題までの流れを構造化し職員で役割分担、声掛けを明確にしたことで、子どもたちが落ち着いて活動出来るようになった。
- ・ 社会スキルの練習を活動の合間に行い、適応行動が増えた。
- ・ 不登校の子ども達への支援として、アレーでの支援、学校支援や学校への付き添いなどを行った。子ども達の気持ちに寄り添い、自尊心がさがらないようハイジでも達成感を得られるように、学習、学びの時間、外活動などで配慮をした。
- ・ 事業所内相談支援や電話連絡を通して保護者と話し合い、支援を行う事が出来た。

### 〔展望〕

- ・ 構造化の見直しと維持を行い、子どもたちにとってわかりやすく前向きに社会スキルを習得していけるようにしていく。
- ・ 学習の時間をしっかりと確保し、学習を楽しめるようにしていく。
- ・ 登園自体に行き渋りがある子どもの家庭への支援を法人全体で共有し、チームで行う。
- ・ 保護者にもグループカウセリング、CSPへの参加をしてもらい、子ども達との関係性をより良いものしていくためにも、継続して参加を促す声掛けを行っていく。
- ・ 不登校の子ども達の支援として不登校支援アレーや学校や保護者とのやりとり、また学校支援の担当職員と連携し、子ども達の自己肯定感を支える支援を行っていく。

## スプリング〈放課後等デイサービス〉

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	16	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
北区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
西区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			1
措置				1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	19	20	20	21	21	21	20	20	20	20	20	20	20

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	248	224	274	249	225	250	275	250	249	237	219	236	2936

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・子どもやお母さんの小学校への不安な気持ちの受け止めに努めた。一人一人の様子に合わせてアーレの利用を勧めた。
- ・社会スキルを身につける為に、毎日フロントで個別にと、活動前に全体でと、他に必要に応じて練習を行った。
- ・グループ活動、当番活動、掃除の活動等を取り入れた。
- ・宿題を、事業所で行うようにし、一人一人の理解度に合わせた支援を行った。
- ・長期休み(夏休み・冬休み)の宿題も、事業所で行って終了出来るように計画を立てて行った。
- ・夏休みには2度、中小屋小学校で活動を行った。
- ・学童運動会や学童発表会に参加した。
- ・下校時の安全を守るために秋まで道路に立って安全を守った。
- ・感染予防に十分留意した。
- ・大雪で休校になった日に急遽朝から受け入れを行った。
- ・アルファさんのウィークリーミーティングを通して、他事業所の様子がよくわかったとともに、問題を共有し、解決出来た事も多かった。

〔展望〕

- ・引き続き、子ども一人一人の状態や気持ちを把握し、気持ちに寄り添いながら、学校の登校やアーレ利用の兼ね合いを支援していく(学校支援の様子も把握していく)。
- ・引き続き、事業所内相談やグループカウンセリング、日頃の会話からも家庭でも困り感を把握し、困り感に寄り添って支援していく。
- ・同じ学年の事業所と連携し、事業所での学習の進め方を検討していく。又、同じ学年同士の交流を意図的に持つ。

野の花<放課後等デイサービス>

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	13	13	13	13	13	13	14	14	14	14	14	14	
北区	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
白石区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
措置	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	
計	21	21	21	21	21	21	23	23	23	23	23	23	

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	235	195	262	216	207	242	248	242	233	200	184	221	2695

## 8. 評価と展望

### 〔評価〕

・スキル練習は指示に従う、助けを求める事を中心に行った。指示に従うスキル練習は繰り返し全体と個別に行ったことで、指示に従うことが難しい子どもも改善がみられ、話を聞く、活動に参加すること等が出来るようになっていった。また、助けを求める練習を行った事で、実際に困った場面でも助けを求めることができ、問題解決に繋がった。

・集団の中でいじめが起こらないように職員間で徹底して話し合い、クラスでも子どもたちに教え伝え、話し合っていた。

・学校の要請があったケースでは他機関と連携会議を持ち、情報を共有できた。

### 〔展望〕

・送迎や、会議などから戻る職員に引継ぎが上手く行かなかった場面があったので先を見通してセットアップとフィードバックを行う。スケジュールを見える化し、情報共有していく。

・デイサービスだけの様子だけではなく、家庭内や学校での様子、また、その子達の生い立ちも把握する事で利用者を深く理解して支援を行う。また、お母さんや保護者の方とこまめに面談を行っていく。

・CSPの社会スキルを身に着ける事が出来るように繰り返し練習を行う。

## ブラックベリー(野の花 第3単位)〈放課後等デイサービス〉

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	41	41	41	41	40	40	39	39	39	35	35	35	36.6
北区	6	6	6	6	6	6	7	7	7	7	7	7	6.5
措置													
計	47	47	47	47	46	46	45	45	45	41	41	41	44.9

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	246	235	285	262	224	249	287	259	247	234	233	288	3049

## 8. 評価と展望

### 〔評価〕

・クラスで、子ども達が楽しんで学習できるような授業に、年間通して取り組む事ができた。

・学年ミーティングを通して、子ども達の困り感を共有し、仲間意識を作ることができた。

・CSPの予防教育をして、社会スキルや生活スキルを身に着けるように取り組んだ。

・「勉強する事」について、子ども達になぜ学習するのか、という根本的なことを示し、将来に向けた意識づけをすることが出来た。

### 〔展望〕

・引き続き、子ども達が興味を持って楽しく学べる授業を提供していく。

・学年ミーティングや集団活動を通して、仲間との連帯感を育んでいく。

・CSPで自立に向けて社会スキルを身に着けるように支援する。

## トゥモロー〈放課後等デイサービス〉

### 1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	13	13	13	13	14	14	14	14	14	14	14	14	13.7
北区	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1.9
計													

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	249	219	274	250	224	250	264	248	249	235	225	237	2924

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・子ども達のそれぞれの発達段階に合わせた個別課題を用意し、取り組むことができた。
- ・季節に合わせた毎月の制作を取り入れた。
- ・構造化とスケジュールを意識し、安定した枠組みのクラスづくりを行った。
- ・コロナの感染状況を鑑みて、毎年行っているキャンプや八剣山、スキーなどの季節の行事を行う事が出来なかった。

〔展望〕

- ・クラスのスケジュールリングや構造化は形ができあがってきているため、制作の中身やもっと一人一人の発達に焦点をあてた個別学習など、中身をより充実させていく。
- ・コロナのために中止にしていた季節の行事を、感染状況を見ながら再度取り入れていきたい。
- ・個別での面談やグループカウンセリングを引き続き行っていき、家庭での困り感を素早くキャッチしていく。

グリーン〈放課後等デイサービス〉

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
北区	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
他市	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
措置	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
計	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	210	199	259	236	225	248	250	233	243	236	224	240	2803

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・6時間の開所なので、日課を決めることで、退屈する時間のない運営ができた。
- ・ミーティングでは、人の方をみて参加することができた。
- ・職員に助けを求める事で、友人関係や悩みごとの解決につながる練習ができた。

〔展望〕

- ・今年度の日課をもとに、畑活動やボランティア活動を取り入れる。

- ・グループカウンセリングをもとに、自分の気持ちを話す練習と話す機会を作る。

## 児童デイサービスジャンプレッツ〈放課後等デイサービス〉

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	13	13	13	14	14	13	13	13	13	13	13	13	13.1
北区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
措置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	14	14	14	15	15	14	14	14	14	14	14	14	14

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	236	221	266	245	223	251	260	243	226	237	220	227	2855

### 8. 評価と展望

#### 〔評価〕

- ・高度行動障害がある子どもに対して支援について、継続的にコンサルテーションを受けることで、重度支援について学びを深め、クラススタッフ全員が共通理解を持つことができ、その結果どのスタッフも同じ対応ができるようトレーニングを積むことが出来た。
- ・スケジュールや設定・場の構造化を行うことで、子ども達が毎日落ち着いた生活を送ることができた。
- ・運転ができるスタッフが増えたため、活動の幅が広がった。
- ・グループカウンセリングや面談を通して、家庭の困り感やニーズを把握し、支援に繋げる事が出来た。

#### 〔展望〕

- ・各職員それぞれの力量の底上げ・共通認識のため、定期的な学習の場を用意し、即実践できるような環境を作っていく。
- ・子どもそれぞれの発達に合った自立課題の設定し、実行する。
- ・グループカウンセリングや事業所内相談支援を通して、保護者とのコミュニケーションを取る

## ライオン〈課後等デイサービス〉

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	13	13	13	13	13	13	13	13	14	14	14	14	13.3
北区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
措置	5	5	5	5	3	3	3	3	3	3	3	3	3.7
計	20	20	20	20	18	18	18	18	19	19	19	19	19

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	247	210	270	263	218	244	266	233	231	236	206	237	2861

## 8. 評価と展望

### 〔評価〕

- ・2年生になり6時間授業の日が増え、疲れて帰ってくる日が増えたが、フロント、学習、ミーティングの流れに沿って動くことが出来るようになった。
- ・子どもたちが自分の気持ちを言葉に出して表現できるようになったり、子ども同士の衝突があっても、大人が気持ちを聞いて解決できることが増えた。
- ・学びの時間も、ユスタバと一緒に考えて共有することが出来た。子どもたちも、楽しんで学びの時間に参加することが出来た。
- ・事業所内相談支援面接を行い、お母さんたちから困り感なども聞くことが出来たり、ヘルプに駆けつけるなどの支援を行った。
- ・こまめな換気、消毒を行い、新型コロナウイルス感染症対策を行った。
- ・大雪やコロナによる急な学校休業日にも対応し、事業所を開所することが出来た。
- ・書類整備なども、期日内にそろえることが出来た。

### 〔展望〕

- ・引き続き、同学年のクラスと横のつながりを大事にし、協力して療育を行っていく。
- ・構造化をしっかり行い、子どもたちがわかりやすく活動できるように考える。
- ・事業所内相談支援面接を行ったり、こまめに連絡を取り合うなど、保護者と子どもの発達について共通理解が出来るよう努める。
- ・引き続き、書類整備も日々、計画的に行って不備のないように、みんなでチェックし、揃える。
- ・引き続き、感染対策に努める。

## みかほ〈放課後等デイサービス〉

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1.916
北区	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	1.666
手稲区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1.833
石狩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.166
計	4	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6	5.583

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	24	46	63	42	59	69	71	67	62	62	57	62	684

## 8. 評価と展望

### 〔評価〕

- ・子どもたちを効果的に褒めることを繰り返し行うことで、自信を持って取り組んだり、自己主張をすることができるようになって発語をする回数が多くなってきた。
- ・連絡帳を用いることで子どもの様子などを親と共有した。また、送迎の際にお母さんとお話することで家での様子や困り感などを共有した。
- ・子どもの様子、体の状態、リハ職の観点でやった方がいいことなどをクラス会議やケースカンファレンスなどで報告、共有して支援した。

### 〔展望〕

- ・CSPを基礎として、むぎのこでの療育の基本、弧の形、先頭中間最後、人数確認などを用いた支援をしていきたい。
- ・コロナで安全に配慮していきながら活動をしているが、引き続き安全のルールを意識して安心、安全を心掛けて子どもたちの生活を保障していきたい。
- ・引き続きお母さん方のお話を聞いていき、子どもだけでなく家族支援も大切にしていきたい。

## IV 生活支援部門

### ショートステイむぎのこ

#### 1. 施設利用状況

##### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	212	215	218	223	225	227	229	230	231	231	232	235	225.7
北区	66	66	66	67	67	67	69	69	70	70	70	70	68.1
西区	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6	6	5.2
南区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2.0
白石区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2.0
豊平区	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	3.3
中央区	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9.0
手稲区	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9.0
厚別区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
石狩市					1	1	1	1	1	1	1	1	0.7
千歳市							1	1	1	1	1	1	0.5
措置	13	15	15	15	16	16	16	16	16	16	16	14	15.3
計	322	327	330	336	340	342	347	348	351	351	352	352	341.6

##### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	222	195	229	228	216	261	264	335	287	214	172	241	2864

#### 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
生活支援員	常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
生活支援員	非常勤	26	26	26	27	27	28	28	28	28	28	28	28
看護師	常勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
栄養士	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
調理員	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
調理員	非常勤	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
合計		39	39	39	40	40	41	41	41	41	41	41	41

#### 3. 支援業務

##### (1) 個別支援計画の策定

- ・短期入所計画作成
- ・安全マニュアル作成

##### (2) 主な日中活動

- ・起床・洗面・着替え・朝食・送迎

- ・送迎・夕食・入浴・くつろぎ・睡眠
- ・休日はむぎのこの園庭、ホール、公園などでの活動

- (3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)
- ・特になし

#### 4. 施設設備管理業務

施設設備の修理・工事	① 窓柵の修理
施設設備の保守点検委託業務	暖房設備・スプリンクラー保守点検
施設設備の管理業務	① 外回り清掃(随時) ② 除雪(随時) ③ 排雪(市川造園により12～3月に12回)

#### 5. 防災対策

##### (1) 防火管理者の状況

職名		氏名	竹内 透	選任届出年月日	2017年11月1日
----	--	----	------	---------	------------

##### (2) 非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2021・4・30	避難・消火・通報・救出・その他	2021・10・15	避難・消火・通報・救出・その他
2021・5・21	避難・消火・通報・救出・その他	2021・11・19	避難・消火・通報・救出・その他
2021・6・18	避難・消火・通報・救出・その他	2021・12・23	避難・消火・通報・救出・その他
2021・7・16	避難・消火・通報・救出・その他	2022・1・21	避難・消火・通報・救出・その他
2021・8・20	避難・消火・通報・救出・その他	2022・2・18	避難・消火・通報・救出・その他
2021・9・17	避難・消火・通報・救出・その他	2022・3・18	避難・消火・通報・救出・その他

#### 6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
職員会議	毎月第1木曜日	12回		管理者・生活指導員	1名	
ショートむぎ職員会議	月1回	12回		管理者・生活指導員 看護師	5名	
感染防止委員会	月1回	12回	1回	管理者	1人	

#### 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法

#### 8. 評価と展望

[評価]

- ・昨年度の引き続き、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、手洗い・手指消毒・マスク着

用・健康管理及び検温等の健康観察・室内換気・室内消毒・食事介助時のゴーグル着用を徹底して行い、感染防止に努めた結果、職員・利用者さんともに様々な感染を防ぐことができた。また、一時保護中に発熱などの病児保育が必要な際も、個別対応や衛生に努めて感染拡大を防いだ。

- ・みかほ整肢園を利用している重心のお子さんの契約と利用が増えたため、食形態や介助の方法についてみかほの職員や栄養士、看護師と連携を取って受け入れることが出来た。

- ・毎日の打ち合わせでCSPの効果的な褒め方とアンガーマネジメントの練習を行い、利用者さんに肯定的に関わることや安全に過ごすことで、利用者さんの生活やリズムが安定していった。

〔展望〕

- ・感染予防対策を徹底し利用者さんと職員の安全を守る。

- ・重心のお子さんに対応するショートステイトハーベストができたが需要が多いため、今年度も看護師や栄養士、ST・OTの専門職員と連携を図り、引き続き重心のお子さんを受け入れていく。

- ・職員全員がCSPを用いて利用者さんと肯定的に関わり、逃げる練習・助けを求める練習・落ち着く練習を日々行い、安心・安全で明るい支援を行う。

## シヨートステイホームピース

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	221	224	227	228	229	231	232	233	235	235	236	236	231
北区	62	62	62	62	62	62	64	64	64	64	64	64	63
西区	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
南区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
白石区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
豊平区	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
中央区	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
手稲区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
措置	15	15	15	15	15	15	15	15	15	17	17	17	15.5
計	320	323	326	327	328	330	331	332	334	336	337	337	330

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	292	328	417	361	347	416	455	377	222	274	376	412	4277

### 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
生活支援員	常勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
生活支援員	非常勤	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
看護師	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
栄養士	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
調理員	非常勤	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
合計		33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33

### 3. 支援業務

#### (1) 個別支援計画の策定

- ・短期入所計画作成

- ・安全マニュアル作成
- ・必要に応じて各部署と支援会議を行い、支援の方向性を検討した。

## (2) 主な日中活動

- ・起床・洗面・着替え・朝食・送迎
- ・送迎・夕食・入浴・くつろぎ・睡眠
- ・休日は園庭・公園での外活動・クッキング・制作等

## (3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

- ・特になし

## 4. 施設設備管理業務

- ・R4年3月 腰壁工事施工

## 5. 防災対策

### (1) 防火管理者の状況

職名	生活介護トリニティ サービス管理責任者	氏名 菊地 愛	選任届出年月日	2019年8月1日
----	------------------------	------------	---------	-----------

### (2) 非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2021・5・21	避難・消火・通報・救出・その他	2021・11・19	避難・消火・通報・救出・その他
2021・6・18	避難・消火・通報・救出・その他	2021・12・17	避難・消火・通報・救出・その他
2021・7・16	避難・消火・通報・救出・その他	2022・1・21	避難・消火・通報・救出・その他
2021・8・20	避難・消火・通報・救出・その他	2022・2・18	避難・消火・通報・救出・その他
2021・9・17	避難・消火・通報・救出・その他	2022・3・18	避難・消火・通報・救出・その他
2021・10・15	避難・消火・通報・救出・その他	・	避難・消火・通報・救出・その他

## 6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
職員会議	毎月第1木曜	12回		管理者・生活支援員	1名	
ショートステイ会議	月1回			管理者・生活支援員	4名	
権利擁護・虐待防止委員会	月1回	12回		管理者	1名	
環境整備委員会	月1回	12回		生活支援員	1名	

## 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法

## 8. 評価と展望

[評価]

・コロナの感染対策のため、消毒・手洗い・換気・マスクの着用・検温等徹底し、利用者さんと職員の健康管理に努めた。流行に伴い利用者さんの受入れが出来ない事があったが、例外的報酬算定により対応した。

・児童相談所からの一時保護委託や要保護家庭の緊急の依頼に対し、速やかに対応した。各機関や各部門と連携して随時支援会議を行い、安全確保と支援内容の向上に努めた。

・CSP やアンガーマネジメントを学習して練習する事で、肯定的に関わり、利用者さんも職員も落ち着いて、明るく安全に過ごす事が出来た。また、職員の引継ぎ時にも必ずアンガーマネジメン

トの練習を行い、虐待防止に努めた。

〔展望〕

- ・引き続き、感染予防対策を徹底して利用者さんと職員の安全を守って行く。
- ・職員全員がCSPを用いて利用者さんと肯定的に関わり、逃げる練習・助けを求める練習・落ち着く練習を日々行い、安心・安全で明るい支援を行って行く。
- ・利用者さんも保護者の方も、利用して良かったと思って頂くように、職員が連携して常に明るく肯定的な対応に心がける。衛生・身だしなみ・環境整備に留意する。

**むぎのこ保育園〈企業主導型保育園〉**

**1. 施設利用状況**

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	23	24	24	26	27	27	28	28	28	28	28	28	319
北区	4	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	53
西区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
手稲区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	10
措置													
計	29	31	31	32	34	33	34	34	34	34	33	33	394

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	486	443	590	562	539	584	682	635	576	579	404	481	6561

**2. 職員配置状況**

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
栄養士	常勤	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務	非常勤	3	3	3	3	3	4	5	5	5	5	5	6
子育て支援員	非常勤	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2
調理員	非常勤	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2
保育士	常勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
保育士	非常勤	8	8	8	8	8	9	9	9	9	9	9	9
合計		20	20	20	21	20	22	23	23	23	23	23	24

**3. 支援業務**

(1) 個別支援計画の策定

- ・月間個別指導計画作成・評価を行う。
- ・グループカウンセリングなどを通して保護者へのアドバイス。

(2) 主な日中活動

- ・朝の会・リズム・散策散歩・公園遊び(遊具・水遊び・雪遊び・シート滑り・そり滑り)
- ・園庭遊び(ターザンロープ・水遊び・プール遊びなど)
- ・設定遊び(毛布ブランコ・布乗り遊び・音楽遊び・わらべうた遊び・サーキット・王様)
- ・山登り・アート(描画・季節の制作・折り紙)

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	入園式・始業式・お誕生会・春の大掃除・避難訓練
5月	遠足・お誕生会・避難訓練
6月	お誕生会・避難訓練
7月	お誕生会・避難訓練
8月	終業式・始業式・夏休み・お誕生会・避難訓練・お泊り会
9月	お誕生会・避難訓練
10月	運動会・秋の遠足・お誕生会・避難訓練
11月	生活発表会・お誕生会・避難訓練・クッキング
12月	餅つき・クリスマス会・お誕生会・終了式・避難訓練
1月	始業式・お正月会・お誕生会・避難訓練
2月	豆まき・お誕生会・避難訓練
3月	ひな祭り会・卒園感謝会・卒園式・お誕生会・終了式・お誕生会・避難訓練

4. 施設設備管理業務

・  
・

5. 防災対策

(1)防火管理者の状況

職名	児童指導員	氏名	菊地愛	選任届出年月日	令和元年8月1日
----	-------	----	-----	---------	----------

(2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2021・4・23	避難・消火・通報・救出・その他	2021・10・15	避難・消火・通報・救出・その他
2021・5・21	避難・消火・通報・救出・その他	2021・11・19	避難・消火・通報・救出・その他
2021・6・18	避難・消火・通報・救出・その他	2021・12・22	避難・消火・通報・救出・その他
2021・7・16	避難・消火・通報・救出・その他	2022・1・21	避難・消火・通報・救出・その他
2021・8・20	避難・消火・通報・救出・その他	2022・2・18	避難・消火・通報・救出・その他
2021・9・17	避難・消火・通報・救出・その他	2022・3・16	避難・消火・通報・救出・その他

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
リーダー会議	毎月	12回	5回	管理者・保育士	2名	
給食委員会	毎月	12回		保育士	1名	
防災委員会	毎月	12回		保育士	1名	
感染防止委員会	毎月	12回		管理者	1名	
虐待防止委員会	毎月	12回		管理者	1名	

7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法

8. 評価と展望

[評価]

・企業主導型保育事業として6年目を迎えるが前年度発達支援事業や地域の幼稚園などの移行により35名の定員だったが4月には24名のスタートだった。3月までには34名の月極の児童がいて常に一枠に一時利用の子どもが利用していた。

今年度は 0 歳児から 5 歳児までのクラス編成であり、各クラスとも事業クラスと交流をしたり、縦割りでの活動ができています。

前年度引き続き日誌、日報の管理整備や健康診断、毎日の視診、毎日のクラスのねらいや評価などを行い日々の子どもたちの対応を行うことができた。

0, 1 歳児の 5 分ごとの睡眠チェック、2 歳以上の 10 分ごとのチェックなどを行い、SID の予防に努めることができた。引き続きそれぞれの年齢に応じた園庭遊び、公園遊び、設定遊びなどを工夫し、基本の SCALE で子どもたちを肯定的に関わることができた。

月一回の保護者とのグループカウンセリングを開催して保護者の困り感、兄弟児としての子どもへの対応などを伝えることが出来ている。

〔展望〕

・グループカウンセリングで保護者とのコミュニケーションを取り兄弟児クラスとの連携を図り親子支援を行なっていく。さらに個人面談を計画に組み入れていく。

- ・乳児の受け入れが多くなっていくため、さらに SIDS の予防に努めていく。
- ・会議や S/V を充実させて職員間の共通理解を図り保育の質の向上を図っていく。
- ・SCALE を大切に安全かつ安心の保育所運営をする。
- ・土曜日保育を行う。
- ・認可保育園への移行に視野に入れ準備を進めていく。

## V 成人部門

### ジャンプレッツ(生活介護)

#### 1. 施設利用状況

##### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	31	31	31	31	32	32	32	32	32	32	32	32	31.7
北区	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
西区	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
手稲区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
清田区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
厚別区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
江別市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
羽幌町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	50	50	50	50	51	51	51	51	51	51	51	51	50.7

##### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

月	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
計	881	830	997	895	801	915	980	939	905	861	847	976	10828

#### 2. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・2021年度の個別支援計画は2020年度終了評価で利用者本人、保護者同席のもと面談。それを基に検討会議を行い、個別支援計画を策定。その後利用者、保護者同席のもと2021年度個別支援計画を説明し、同意を得る。(9月に同様に後期個別支援計画を行った。)

(2) 主な日中活動

- ・作業や活動(畑作業・洗車作業・室内清掃、施設外清掃・除雪作業・ビーズ作業・ペンキ)を5つのグループに分かれて行なった。
- ・スポーツ活動(ソフトボール・歩くスキー・卓球・スケート・ボッチャ、風船バレー等)
- ・レクリエーション(フットケア・ハンドケア等)
- ・サークル活動(英会話、フラダンス)
- ・行事(お花見・日帰りキャンプ・スポーツ大会・クリスマス会など)

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	英会話・フラダンス・入所式・歓迎会
5月	英会話・フラダンス・お花見
6月	英会話・フラダンス
7月	英会話・フラダンス・海水浴
8月	英会話・フラダンス・日帰りキャンプ(中小屋小学校)
9月	英会話・フラダンス
10月	英会話・フラダンス・スポーツ大会
11月	英会話・フラダンス・三角山登山
12月	英会話・フラダンス・クリスマス会
1月	英会話・フラダンス・成人式
2月	英会話・フラダンス・豆まき
3月	英会話・フラダンス・ひな祭り

3. 給食業務

給食提供形態	1日1食 毎日提供 食事時間 11:30~13:00 食事提供に当たって、利用者の心身の状況や嗜好に合わせて食事の提供を行うとともに、年齢、障害の特性に応じた適切な栄養量及び内容の食事提供を行うため上記の栄養士を配置し、必要な栄養管理を実施。
給食費	650円

4. 医療体制

- ・嘱託医田村ドクター、平尾ドクターによる毎年1~2回の生活習慣予防検診の実施
- ・年2回の健康診断の実施(6月・10月)
- ・看護師・スタッフの連携による健康管理・指導
- ・定時薬・臨時薬の準備と保管・服用管理
- ・栄養士による食事管理

5. 施設設備管理業務

- ・エレベーター(リモート点検毎月・技術員点検4回・法定検査年1回)
- ・防災設備(法定点検年2回)

6. 防災対策

(1)防火管理者の状況

職名	施設長	氏名	高田 隆一	選任届出年月日	平成21年4月1日
----	-----	----	-------	---------	-----------

(2)消防計画の状況

当初届出年月日	2002年3月31日	最終変更届出年月日	2020年4月15日
---------	------------	-----------	------------

(3)消防設備等の点検状況

区分	点検の箇所等			
	総合		外観・機能等	
点検年月日	2021年7月15日	年 月 日	2022年2月14日	年 月 日

消防署への報告	有 ・ 無	整備点検記録の有無	(有) ・ 無
---------	-------	-----------	---------

(4)所轄消防署の立入検査状況

検査の有無	有 ・ (無)
立入検査年月日	年 月 日
改善指示事項の有無	有 ・ (無)
改善指示事項の内容	
上記の改善内容	

(5)避難場所の状況

第1次避難場所		第2次避難場所	
予定地	みずどり公園	予定地	伏古北小学校
施設からの距離	10M	施設からの距離	200M
予定地までの所要時間	約1分	予定地までの所要時間	10分

(6)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
3.4.23	(避難・消火・通報・救出・その他)	3.10.22	(避難・消火・通報・救出・その他)
3.5.21	(避難・消火・通報・救出・その他)	3.11.19	(避難・消火・通報・救出・その他)
3.6.16	(避難・消火・通報・救出・その他)	3.12.17	(避難・消火・通報・救出・その他)
3.7.16	(避難・消火・通報・救出・その他)	4.1.15	(避難・消火・通報・救出・その他)
3.8.20	(避難・消火・通報・救出・その他)	4.2.18	(避難・消火・通報・救出・その他)
3.9.17	(避難・消火・通報・救出・その他)	4.3.18	(避難・消火・通報・救出・その他)

(7) その他の防災対策

- ・ 自動通報装置の設置
- ・ セコムとの連携・利用者の防災センター体験による防災意識高揚
- ・ AEDの設置
- ・ 警備日誌の励行
- ・ 3日分の食料、水の備蓄、災害時拠点としての防災・災害対策用品の備蓄
- ・ 町内会防災訓練参加
- ・ 災害時指定避難場所への避難（伏古北小へ（年1回））

7. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サービス管理責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
生活支援員	常 勤	12	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11	11
生活支援員	非常勤	24	23	25	25	25	26	26	26	26	26	25	25
看護師	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
栄養士	常 勤	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2
調理員	非常勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
合計		43	42	44	45	45	46	47	47	47	47	46	46

※サービス特性によって「児童発達管理責任者」「サービス提供責任者」と書き換える。

8. 実習生・介護等体験の受入 ※実際に事業所で受け入れた記録を入力

受入学校名		実習期間	人数
実習生	札幌国際大学	8/10-11, 8/17-20, 8/23-26、8/6-27	2人
	せいとく介護こども福祉専門学校	11/15-30	1人
	札幌国際短期大学	8/18-31	1人


9. 職員研修 ※実際に事業所職員が参加した研修等(研修報告のあるもの)を記入してください

(1) 法人・事業所内研修

日時	主催者	研修会名称	参加職員数
4/1		法人研修	全職員

(2) 施設外研修・行政説明会への参加

日時	主催者	研修会名称	参加職員数
6/25	北海道知的障がい福祉協会	全道施設長セミナー	1人
10/6-7	日本知的障がい福祉協会	全国知的障害関係施設長等会議	1人
4/20	特定非営利活動法人きなはれ	サビ管更新研修	1人
5/10-13	株式会社 詩恩	行動援護従事者養成研修	1人
4/1-3/31	日本知的障がい福祉協会	知的障害援助専門員養成通信教育	2人
6/1-11/30	日本知的障がい福祉協会	知的障害を理解するための基本講座	4人
8.25	北海道知的障がい福祉協会	北海道知的障がい関係支援員研修	1人
9.7.8.21.22	社会福祉法人 はるにれの里	行動援護従事者養成研修	2人
2021.10.27	北海道知的障がい福祉協会	幹部職員研修会	1人
2021/11/1-4/30	日本知的障がい福祉協会	知的障害を理解するための基礎講座	4人
11/15-28	日本知的障がい福祉協会	障害者支援施設部会全国大会北海道大会	1人
12/8-9.12/22-23	社会福祉法人 はるにれの里	行動援護従事者養成研修	1人
2/10	北海道知的障がい福祉協会	全道施設長研修会	1人
2/17.	特定非営利活動法人きなはれ	サビ管更新研修	1人

10. 諸会議の開催※会議録必須

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
支援員会議	毎月火曜日	24回		管理者・サビ管・生活支援員・看護師	17名	
各種委員会	毎月第4水曜日	12回		委員会担当職員	17名	
職員会議	毎月第4水曜日	12回		管理者・サビ管・生活支援員		
各部会議	毎月第2水曜日	12回		管理者・サビ管・生活支援員		
マネージャー会議	毎月第2.4水曜日	29回		マネージャー	2名	
リーダー会議	月1回	12回		マネージャー・リーダー	3名	

11. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法

12. 評価と展望

[評価]

- ・利用者支援では、全職員がコモンセンスペアレンティングを中心に、場面で各教育法を実践ができるよう支援を心掛けた。また、CSPが共通言語になるよう、どの職員でも同じように専門的な関わりができるように利用者さんとの関係構築を率先し行った。
- ・強度行動障害等などの対応が難しい利用者には、片倉厚子先生コンサルテーションに参加し、支援方法・工夫の仕方を学んだ。かくたつ体操を中心に歯磨きなど細かな動きや、食事面では箸を使って食事を食べることができるよう支援した。数人が実際に箸を使って食べることができるようになった。また、自分のペースから相手のペースで食事を食べることができるようになり、周りの動きに合わせて行動ができるようになった。
- ・支援側ができないのではと思うのではなく、どのように配慮、工夫すれば生活しやすくなり、豊かな生活を送ることができるのかを少しずつ実践に活かすことができた。
- ・各5グループの内、能力に合わせてグループを作り、強度行動障害には体操や一輪車、就労を希望している利用者には内職やポスティングなどを提示し、希望に合わせて参加できるように支援した。また、天候の良い日には戸外活動を組むことでリフレッシュすることができるよう配慮しました。
- ・内職の箱折りは全利用者が行うことができるように支援をした。折る作業以外にも片付けや解体など重度の利用者でもできる作業を探し、全員で行うことでやりがいにつながるように支援を行った。定期的に同じ箱折りが入ることが決まったため、利用者の得意・不得意に合わせて行い、ミスを少なくできるように取り組んだ。
- ・職員のグループSVや個別SVを行うことで、職員の良かった、難しかったことを理解し、改善点のアドバイスを示し、利用者さんへの前向きな支援を行うことができた。週に一度、支援員会議を開き、支援について各グループからの報告、相談を全員で解決できるように話を行った。

#### 〔展望〕

- ・各グループでの活動に対して、さらに構造化し、利用者がわかりやすく見通しをもって活動や作業に取り組むことができるような配慮が必要になる。ホワイトボードや絵、絵カードなどを使い視覚的に配慮を行う。
- ・箱折りの技術を向上させ、納品の数を増やすことができるように支援していく。また、ロスを少なくし、納品先や卸先からの信頼を得て、いろいろな内職作業を行うことができるように支援していく。
- ・家族支援として、来年度は家族会CSPを開催し、家族の悩みを聞くなどのコミュニケーションを図っていく。
- ・状況に応じて、フルーツ狩りやキャンプ泊旅行などを企画し、楽しみを持てるように支援する。
- ・マスクや手洗いを全員が出来るように徹底した支援を行っていく。また、強度行動障害の方の支援については、定期的なコンサルテーションで報告し、アドバイスをもらいながら継続して支援を行っていく。

## ジャンプレッツ〈就労移行〉

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	19	18	17	17	17	16	13	13	12	12	12	12	14.8
北区						1	1	1	1	1	1	1	0.6
豊平区	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0.6
計	20	19	18	18	18	18	15	14	13	13	13	13	16
前年度	13	13	13	13	13	14	14	16	16	16	16	18	14.5

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

月	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
合計	197	172	173	188	162	168	184	179	152	149	144	144	2031
前年度	158	117	130	145	122	140	136	120	116	129	105	144	1562

## 2. 支援業務

### (1) 個別支援計画の策定

・2020年度の個別支援計画は中間評価で利用者本人と面談。それを基に検討会議を行い、個別支援計画を策定。その後利用者や保護者に作成した個別支援計画を説明し、同意を得る。(概ね3ヶ月ごとに同様に個別支援計画の見直しを行った。)

### (2) 主な日中活動

・調理室での作業：食器の準備、調理業務(食材の切り作業、味付け、炒め作業等)、食事の配達業務、食器洗浄、調理室清掃作業等、ジャンプレッツ内清掃  
・麦の子発達クリニックの清掃

### (3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	入所式
5月	
6月	
7月	
8月	
9月	
10月	
11月	三角山登山
12月	
1月	成人式
2月	
3月	

## 3. 給食業務

給食提供形態	1日1食 毎日提供 食事時間 11:30~13:00 食事提供に当たって、利用者の心身の状況や嗜好に合わせて食事の提供を行うとともに、年齢、障害の特性に応じた適切な栄養量及び内容の食事提供を行うため栄養士を配置し、必要な栄養管理を実施。
給食費	650円

## 4. 健康管理業務

### (1) 医療体制

・嘱託医田村ドクター、平尾ドクターによる毎月1~2回の生活習慣予防検診の実施

### (2) 健康管理

・年2回の健康診断の実施(6月・10月)  
・看護師・スタッフの連携による健康管理・指導  
・定時薬・臨時薬の準備と保管・服用管理  
・栄養士による食事管理

## 5. 施設設備管理業務

・エレベーター(リモート点検毎月・技術員点検4回・法定検査年1回)  
・防災設備(法定点検年2回)

## 6. 防災対策

### (1) 防火管理者の状況

職名	施設長	氏名	高田 隆一	選任届出年月日	平成21年4月1日
----	-----	----	-------	---------	-----------

### (2) 消防計画の状況

当初届出年月日	2002年3月31日	最終変更届出年月日	2020年4月15日
---------	------------	-----------	------------

### (3) 消防設備等の点検状況

区分	点検の箇所等
----	--------

	総合		外観・機能等	
点検年月日	2021年7月15日	年 月 日	2022年2月14日	年 月 日
消防署への報告	有・無	整備点検記録の有無		(有)・無

#### (4)所轄消防署の立入検査状況

検査の有無	有・(無)
立入検査年月日	年 月 日
改善指示事項の有無	有・(無)
改善指示事項の内容	
上記の改善内容	

#### (5)避難場所の状況

第1次避難場所		第2次避難場所	
予定地	みずどり公園	予定地	伏古北小学校
施設からの距離	10M	施設からの距離	200M
予定地までの所要時間	約1分	予定地までの所要時間	10分

#### (6)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
3.4.23	避難・消火・通報・救出・その他	3.10.22	避難・消火・通報・救出・その他
3.5.21	避難・消火・通報・救出・その他	3.11.19	避難・消火・通報・救出・その他
3.6.16	避難・消火・通報・救出・その他	3.12.17	避難・消火・通報・救出・その他
3.7.16	避難・消火・通報・救出・その他	4.1.15	避難・消火・通報・救出・その他
3.8.20	避難・消火・通報・救出・その他	4.2.18	避難・消火・通報・救出・その他
3.9.17	避難・消火・通報・救出・その他	4.3.18	避難・消火・通報・救出・その他

### 7. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サービス管理責任者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
職業指導員	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
就労支援員	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
生活支援員	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0
生活支援員	非常勤									1	1	1	1
調理員	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0
合計		6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5

### 9. 職員研修

#### (1) 法人・事業所内研修

日時	主催者	研修会名称	参加職員数
4/2	社会福祉法人麦の子会	法人研修	4名

### 10. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考
		定例	臨時			
支援員会議	毎週 火曜	24回		管理者・サビ管・支援員	3名	
ケース会議	毎月第4水曜	12回		管理者・サビ管・支援員	3名	
各種委員会	各委員会規定日	12回		委員会担当職員	3名	
職員会議	毎月第4水曜日	12回		管理者・サビ管・支援員	3名	
各部会議	毎月第2水曜日	11回		管理者・サビ管・支援員	3名	

### 11. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
----	--------	----------

	なし	
--	----	--

## 12. 評価と展望

2021年度は、一般就労に結び付いた利用者は3名いた。昨年度は0人であったので、今後も一般就労に繋ぐことができるように支援を継続していく。利用率についても定員を割れることなく一年間進めることができた。支援についてはCSPをベースに教育法を用いて、利用者の達成感や充実感を高め、自己肯定感をもって過ごすことができていました。また、SSTの練習であいさつなどの基礎スキルの獲得や、適切なコミュニケーションをとることができるように支援を行った。

展望として、就労につながるような支援をしていきたい。挨拶や目を見ての会話などの生活面のスキルの獲得や、コミュニケーション能力を高めることができるよう支援していきたい。

また、給食づくりや配達以外にも、内職や箱折り、ポスティングなど生活介護の利用者と一緒に作業を行い、様々なスキルを身に付け、自信につなげていきたいと感じている。働く環境づくりもSVやグループSVを通じて風通しの良い職場になるように常に工夫をし、安心して通所ができるように今後も支援を続けていく。

## ハーベストガーデン〈生活介護〉

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	2	22	22	22	22	22	22	22	22	22	23	24	22
北区	2	2	2	2	2	2	2	22		2	2	2	2
措置	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1
計	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	27	27	26

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	579	546	633	610	519	593	633	593	592	562	532	609	7001

### 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サービス管理責任者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
生活支援員	常勤	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
生活支援員	非常勤	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
看護師	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
看護師	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
栄養士	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20

### 3. 支援業務

#### (1) 個別支援計画の策定

- ・2021年度の個別支援計画は2020年度終了評価で利用者本人、保護者同席のもと面談。それを基に検討会議を行い、個別支援計画を策定。その後利用者、保護者同席のもと

2021年度個別支援計画を説明し、同意を得る。  
 (9月に同様に後期個別支援計画を行った。)

(2) 主な日中活動

- ・スポーツ (歩くスキー・ソフトボール・マラソン他) /勉強/ウォーキング/ショッピング  
 町内清掃/ガーデニング/畑作業/フラダンス/アイロンビーズ/洗車作業/ドライブ/  
 ボイストレーニング/フラワーアレンジメント/三角山登山/ポスティング/

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	入所式・歓迎会・フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント
5月	花見・フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント
6月	フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント
7月	フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント
8月	フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント
9月	フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント・
10月	スポーツ大会・フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント
11月	フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント
12月	クリスマス会・フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント
1月	成人式・歩くスキー・フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント
2月	豆まき・フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント
3月	ひな祭り・フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント

4. 施設設備管理業務

- ・防災設備 (法廷点検 2回)

5. 防災対策

(1)防火管理者の状況

職名	管理者	氏名	古家 健司	選任届出年月日	平成 24 年 7 月 12 日
----	-----	----	-------	---------	------------------

(2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2021・4・22	避難・消火・通報・救出・その他	2021・10・16	避難・消火・通報・救出・その他
2021・5・15	避難・消火・通報・救出・その他	2021・11・20	避難・消火・通報・救出・その他
2021・6・19	避難・消火・通報・救出・その他	2021・12・18	避難・消火・通報・救出・その他
2021・7・17	避難・消火・通報・救出・その他	2022・1・15	避難・消火・通報・救出・その他
2021・8・21	避難・消火・通報・救出・その他	2022・2・19	避難・消火・通報・救出・その他
2021・9・18	避難・消火・通報・救出・その他	2022・3・19	避難・消火・通報・救出・その他

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
支援員会議	毎月第 1.3 水曜日	24 回		管理者・サビ管・生活支援員・看護師	13 名	支援員会議
各種委員会	毎月第 4 水曜日	12 回		委員会担当職員	8 名	各種委員会
職員会議	毎月第 4 水曜日	12 回		管理者・サビ管・生活支援員	8 名	職員会議
各部会議	毎月第 2 水曜日	12 回		管理者・サビ管・生活支援員	8 名	各部会議
マネージャー会議	随時	29 回		マネージャー	1 名	マネージャー会議

7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法

## 8. 評価と展望

### 〔評価〕

・コロナ禍で始まり、外部施設への活動と、外販の大幅な自粛で活動内容が狭まってしまった。そんな中、室内でも出来る活動を増やし工夫をしていく事で、利用者さんが楽しめる事を探していった。また感染予防を強化するために、マスクの徹底や、時間を決めて消毒に取り組んだ。

・職員間では毎日のCSPのスキル練習を行う事で、確実にスキルが上がったと感じる。そのことにより利用者さんの社会スキルも上がり、活動がしやすくなった。

・新人職員と毎日の振り返りを行う事で、1年間フォローする事が出来た。

・SV体制をとり、良い事や難しかった事も全体で共有する事で職員同士も一致して支援を行う事ができた。

### 〔展望〕

・引き続き、感染防止を行い、マスクの徹底、換気、消毒など出来る事を確実にやっていく。そのことで利用者さんたちの安全を守っていく。

・構造化や、スケジュールをよりわかりやすくし、利用者さんの適正に配慮しながらも、挑戦、達成感を感じられる支援を行うとともに、CSPによるポジティブな関りを通して、利用者さん本人が自己肯定感を感じられるよう支援を進める。

・自己選択、自己決定を意識して、活動内に出来る事を増やしていく。

## トリニティ〈生活介護〉

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	22	22	22	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21.3
北区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
中央区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	25	25	25	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24.3

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	460	253	490	475	411	472	515	471	467	445	403	478	5340

### 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サービス管理責任者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
生活支援員	常勤	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
生活支援員	非常勤	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
看護師	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
調理員	非常勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

合計		19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
----	--	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

### 3. 支援業務

#### (1) 個別支援計画の策定

- ・2021年度の個別支援計画は2020年度終了評価で利用者本人、保護者同席のもと面談。それを基に検討会議を行い、個別支援計画を策定。その後利用者、保護者同席のもと2021年度個別支援計画を説明し、同意を得る。(9月に同様に後期個別支援計画を行った。)

#### (2) 主な日中活動

- ・スポーツ(歩くスキー、ソフトボール・マラソン他)/勉強/ウォーキング/ショッピング/町内清掃/畑作業/洗車作業/清掃作業/室内トレーニング/ボッチャ/体操

#### (3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	入所式・歓迎会・英会話・
5月	花見・英会話・
6月	英会話・
7月	円山動物園・英会話・
8月	英会話・
9月	英会話
10月	スポーツ大会・ハロウィンパーティー・英会話
11月	三角山登山・英会話
12月	クリスマス会・英会話
1月	成人式・歩くスキー・英会話
2月	豆まき・英会話
3月	ひな祭り・英会話

### 4. 施設設備管理業務

- ・防災設備(法廷点検2回)

### 5. 防災対策

#### (1) 防火管理者の状況

職名	サービス管理責任者	氏名	菊池 愛	選任届出年月日	令和1年8月1日
----	-----------	----	------	---------	----------

#### (2) 非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2021・4・23	避難・消火・通報・救出・その他	2020・10・15	避難・消火・通報・救出・その他
2020・5・21	避難・消火・通報・救出・その他	2020・11・19	避難・消火・通報・救出・その他
2020・6・18	避難・消火・通報・救出・その他	2020・12・22	避難・消火・通報・救出・その他
2020・7・16	避難・消火・通報・救出・その他	2021・1・21	避難・消火・通報・救出・その他
2020・8・20	避難・消火・通報・救出・その他	2021・2・18	避難・消火・通報・救出・その他
2020・9・17	避難・消火・通報・救出・その他	2021・3・16	避難・消火・通報・救出・その他

### 6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
支援員会議	毎月第1.3水曜日	24回		管理者・サビ管・生活支援員・看護師	11名	
各種委員会	毎月第4水曜日	12回		委員会担当職員	11名	

職員会議	毎月第4水曜日	12回		管理者・サビ管・生活支援員	13名	
各部会議	毎月第2水曜日	12回		管理者・サビ管・生活支援員	11名	
マネージャー会議	随時	29回		マネージャー	2名	
リーダー会議	月1回	12回		マネージャー・リーダー	2名	

## 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法

## 8. 評価と展望

〔評価〕

- ・5月にクラスターが発生し、利用者さんが一人亡くなってしまった。とても残念で悲しく、悔しい気持ちでいっぱいになった。我々の出来る、安全対策をしっかりと行い、次の犠牲者を出さないように徹底して行ってきた。
- ・支援の基本として、CSPの効果的なほめ方で関係性を築き、問題行動に対しても適応行動の練習しほめるサイクルを職員間で徹底した。そして日々の社会スキルの練習を行い、利用者さんが適切に許可を得ることできるようになり、コミュニケーションで意思を伝えることが増えてきた。
- ・SVを毎週行うことで、良かったことや難しかったことを職員間で共有し、必要なことを考え支援に活かせるよう話し合いを行うことが出来た。また毎朝の打ち合わせで、支援の振り返りと、今日の支援の方法を話し合うことで、職員間のコミュニケーションが増えてきた。

〔展望〕

- ・引き続き新型コロナウイルス感染防止を徹底し、手洗い、消毒、マスクの着用ができるよう徹底して行っていく。
- ・一人一人のアセスメントをとって、職員間で利用者さんに必要なスキルを話し合い共有して取り組んでいく。
- ・活動はマンネリ化することをなくし、常に最善の活動を模索して取り組んでいく。2022年度は利用者さんも増えるので、職員のスキルを上げるために学びに力を入れていく。

## ホワイトハウス〈グループホーム〉

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	54	54	54	54	54	53	53	53	53	53	53	54	
北区	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
西区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
豊平区	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
清田区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
厚別区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
札幌市外	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	1	1	1
計	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	65	65	

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	1836	1770	1837	1872	1771	1837	1906	1854	1859	1807	1697	1911	21957

## 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サービス管理責任者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
世話人	常勤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
世話人	非常勤	21	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23
生活支援員	常勤	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
生活支援員	非常勤	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
看護師	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		45	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47

## 3. 支援業務

### (1) 個別支援計画の策定

- ・2021年度の個別支援計画は2019年度終了評価で利用者本人、保護者同席のもと面談。それを基に検討会議を行い、個別支援計画を策定。その後利用者、保護者同席のもと2021年度個別支援計画を説明し、同意を得る。  
(9月に同様に後期個別支援計画を行った。)

### (2) 主な日中活動

・

### (3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	誕生会
5月	誕生会
6月	誕生会
7月	誕生会
8月	誕生会、焼肉パーティー
9月	誕生会
10月	誕生会
11月	誕生会
12月	誕生会、クリスマス
1月	誕生会
2月	誕生会
3月	誕生会

## 4. 施設設備管理業務

- ・防災設備(法定点検年2回)

## 5. 防災対策

### (1) 防火管理者の状況

職名	防火管理責任者	氏名	内山武人	選任届出年月日	2015年9月
----	---------	----	------	---------	---------

### (2) 非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2021・4・16	避難・消火・通報・救出・その他	2021・10・15	避難・消火・通報・救出・その他
2021・5・21	避難・消火・通報・救出・その他	2021・11・19	避難・消火・通報・救出・その他
2021・6・18	避難・消火・通報・救出・その他	2021・12・17	避難・消火・通報・救出・その他
2021・7・16	避難・消火・通報・救出・その他	2022・1・21	避難・消火・通報・救出・その他
2021・8・20	避難・消火・通報・救出・その他	2022・2・18	避難・消火・通報・救出・その他
2021・9・17	避難・消火・通報・救出・その他	2022・3・18	避難・消火・通報・救出・その他

## 6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
グループホーム会議	毎週月曜	52回		管理者・サビ管 世話人・生活支援員	19名	男女別で行なった
グループマネージャー会議	毎月第一、第三水曜日	20回		管理者・サビ管 生活支援員	6	

## 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	特になし	

## 8. 評価と展望

〔評価〕

- ・5月12日に男性ホームのホワイトハウスでコロナ陽性者が出た為に、職員・利用者がホーム隔離体制で3週間過ごした。
- ・今年度もコロナ禍でキャンプ、スポーツ観戦などの屋外活動は自粛した。
- ・長期休みには通所職員にも協力してもらい、ホームの配置に入ってもらった。
- ・今年度は有休消化を計画的に立てて消化する事が出来たが、特に夜勤者の有休取得の為の職員配置変更は課題となった。

〔展望〕

- ・利用者支援ではコンサルなどで常に通所と連携・連絡を密に取って支援を行っていく。
- ・コロナ禍で各ホーム消毒・換気を常に行い、感染予防を第一に考えて、利用者さんが安全に暮らせるよう支援していく。
- ・男性ホームの日勤体制に余裕がない為、求人を持期的にかけていく。

## ショートステイホームカリブ

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	16	12	20	15	14	16	16	16	15	21	21	25	17
北区	1		3	5	2	1	1	1	2	1	1	1	2
西区		2	0										0.1
手稲区	1		1	3	3	3	4	3	3	3	3	3	2
厚別区												0	0
計	21	14	24	23	19	20	21	20	20	25	25	29	22

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
計	21	14	24	23	19	20	21	20	20	25	25	29	261

### 2. 支援業務

#### (1) 個別支援計画の策定

- ・ジャンプレッツ・ハーベストガーデン・トリニティと連携をとり、短期入所計画を策定している

(2) 主な日中活動

- ・起床・洗面・着替え・朝食・送迎
- ・夕食・入浴・くつろぎ・睡眠

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

- ・特になし

5. 施設設備管理業務

施設設備の修理・工事	特になし
施設設備の保守点検委託業務	防災設備(法定点検年2回)
施設設備の管理業務	④ 外回り清掃(随時) ⑤ 除雪(随時)

6. 防災対策

(1) 防火管理者の状況

職名	防火管理責任者	氏名	内山 武人	選任届出年月日	2015年9月
----	---------	----	-------	---------	---------

(6) 非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
R3・4・16	避難・消火・通報・救出・その他	R3・10・16	避難・消火・通報・救出・その他
R3・5・21	避難・消火・通報・救出・その他	R3・11・19	避難・消火・通報・救出・その他
R3・6・18	避難・消火・通報・救出・その他	R3・12・17	避難・消火・通報・救出・その他
R3・7・16	避難・消火・通報・救出・その他	R4・1・21	避難・消火・通報・救出・その他
R3・8・20	避難・消火・通報・救出・その他	R4・2・18	避難・消火・通報・救出・その他
R3・9・17	避難・消火・通報・救出・その他	R4・3・18	避難・消火・通報・救出・その他

(2) その他の防災対策

- ・住居内外点検

7. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サービス管理責任者	常勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
世話人	常勤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
世話人	非常勤	21	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23
生活支援員	常勤	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
生活支援員	非常勤	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
看護師	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		45	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47

10. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
グループホーム会議	毎週月曜	52回		管理者・サビ管 世話人・生活支援員	19名	男女別で行っている

11. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	なし

## 12. 評価と展望

〔評価〕

- ・5月はコロナの影響でショート利用が出来なかった為稼働率が下がってしまった。
- ・利用者の自己決定や自己選択を尊重する事を第一に支援を行なっていく。
- ・関わりが難しい利用者に関してはその都度、通所と連携をとりチームで支援する事が出来た。
- ・コロナの感染対策のため、消毒・手洗い・換気・マスクの着用・検温等徹底し、利用者さんと職員の健康管理に努めた。

〔展望〕

- ・引き続き、感染予防対策を徹底して利用者さんと職員の安全を守って行く。
- ・職員全員が CSP を用いて利用者さんと肯定的に関わり、逃げる練習・助けを求める練習・落ち着く練習を日々行い、安心・安全で明るい支援を行う。

## VI 社会的養護部門

### ガブリエルホーム 〈ファミリーホーム〉

#### 1. 施設利用状況

##### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
措置	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
一時保護	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0.25
計	6	6	6	6	6	6	6	7	7	7	6	6	6.25
前年度	7	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6	

##### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	180	186	180	186	186	180	186	196	217	198	168	186	2249

#### 2. 職員配置状況

(人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者兼養育者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

養育補助者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
養育補助者	非常勤	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3
合計		6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5

### 3. 支援業務

#### (1) 個別支援計画の策定

- ・ 児童自立支援計画が児童相談所より届き確認した。
- ・ 発達支援プランを作成した。

#### (2) 主な日中活動

- ・ 整容・朝食・出発準備・おやつ・夕食・入浴・公園遊び

#### (3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	カーペンターズ、お誕生会、避難訓練
5月	お誕生会、避難訓練
6月	避難訓練
7月	避難訓練
8月	避難訓練
9月	避難訓練
10月	小学校運動会、学童運動会、お誕生会、避難訓練、カーペンターズ
11月	生活発表会、避難訓練、学習発表会
12月	もちつき、お誕生会、避難訓練、クリスマス会
1月	お正月会、避難訓練
2月	豆まき、避難訓練
3月	ひなまつり、お誕生会、避難訓練

### 4. 施設設備管理業務

- ・ 火災報知器、消火器の点検(法定点検年2回)
- ・ 室内清掃(毎日)
- ・ 室外清掃・草花の手入れ(都度)

### 5. 防災対策

#### (1) 防火管理者の状況

職名		氏名	届出義務無し	選任届出年月日	
----	--	----	--------	---------	--

#### (2) 非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2021・4・24	避難・消火・通報・救出・その他	2021・10・23	避難・消火・通報・救出・その他
2021・5・22	避難・消火・通報・救出・その他	2021・11・27	避難・消火・通報・救出・その他
2021・6・26	避難・消火・通報・救出・その他	2021・12・25	避難・消火・通報・救出・その他
2021・7・24	避難・消火・通報・救出・その他	2022・1・22	避難・消火・通報・救出・その他
2021・8・28	避難・消火・通報・救出・その他	2022・2・26	避難・消火・通報・救出・その他
2021・9・25	避難・消火・通報・救出・その他	2022・3・26	避難・消火・通報・救出・その他

### 6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
ファミリーホーム会議	毎週火曜日			管理者・養育補助者	6名	
グループS V	毎週木曜日			管理者・養育補助者	6名	

## 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法

## 8. 評価と展望

〔評価〕

- ・コロナ過の中での生活に慣れてきているようで、マスク手洗い等定着してきている。又消毒や換気を徹底し、感染しないように心がけている。外出制限等で子ども達も落ち着かない、不安と言った部分もあったが、小学校やディサービスなどと連携し子どもの状態をお互いに共有し配慮していくことが出来た。
- ・CSPの予防やスキル練習をして関わり、褒めることに重点を置いて養育した。子どもたちの意見や願いを丁寧に聞いて、気持ちを尊重し安心して生活できるようになってきている。
- ・お楽しみのキャンプや外出の機会は減ったが、室内や家の周りで楽しめる遊びの場面を作り楽しんだ。夏は、暑かったのでビニールプールの大きいのを購入し、皆で入り楽しんだ。冬は、例年になく雪が多かったので、皆で除雪をしながら終わった後の達成感を得る事が出来た。

〔展望〕

- ・コロナがまだ収まらない状況の中で、マスク着用、手洗い消毒、ホーム内消毒を徹底して行っていく。
- ・小学校、中学校、ディサービス等とも連携して子どもが安心して安全な生活を送れるように支援していく。
- ・令和3年4月に4ホーム体制になってから、ファミリーホーム同士の連携が増えて行き、子どもたちの希望も聞きながら、協力し合って子どもたちを支援していく。

## ベテールホーム〈ファミリーホーム〉

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
措置	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
一時保護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
前年度	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	180	186	180	186	186	180	186	180	186	186	168	186	2190

### 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者兼養育者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
養育補助者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
養育補助者	非常勤	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
合計		6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

## 8. 評価と展望

〔評価〕

- ・コロナ過の中での生活に慣れてきているようで、マスク手洗い等定着してきている。又消毒や換気を徹底し、感染しないように心がけている。子どもたちが濃厚接触者になり、不安になることもあったが、小学校やデイサービスなどと連携し子どもの状態をお互いに共有し配慮していくことが出来た。
- ・小学校、中学校とデイサービスと連携し、子どもの状態をお互いに把握したり、デイサービスでの活動に対して、家でもスキル練習をしたりしてきたことや、子どもたちの話を聞いてもらうことで落ち着いてきている。また学校を休みことも多かった。のでデイサービスとの連携も多くなった。
- ・カウンセリングを子どもたちが受けさせてもらうことによって子どもたちの希望も聞けて、実現できたことがあった
- ・同級生の子どもたちの関係性が悪くなってしまったことで修復しようと配慮してきたが、難しかったが、ショートステイにも協力してもらい子どもたちとの関係にも配慮してきた。

〔展望〕

- ・中学校、小学校、デイサービスなど進級し新しい環境になるので、子どもが安心して生活を送れるように各所と連携し、支援していく
- ・引き続き、子どもたちにカウンセリングを受けさせてもらうことによって子どもたちの希望や要望など把握していく。また引き続きCSPを勉強し、褒めることを中心に、現在の子どもたちにあった結果を工夫して考えていく。
- ・コロナがまだ蔓延している状態なので、マスク着用、手洗い、手指消毒、ホームの消毒など大人だけでなく、子どもたちにも徹底するように働きかける。
- ・2021年度と同様、グレープ、ミモザが、ガブリエルホームと4ホームで連携し子どもたちを支援していく

ミモザ〈ファミリーホーム〉

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
措置	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	1.16
一時保護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	1.16
前年度													

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	150	155	180	186	186	180	186	180	186	186	168	186	2129

2. 職員配置状況

(人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者兼養育者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
養育補助者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
養育補助者	非常勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
合計		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・4月からファミリーホームとしてスタートした。法人にはすでにファミリーホームが2ホームあるため、相談や連携しながら子どもたちが安心と安全に暮らすことが出来るように協力することが出来た。また、同じく4月からスタートしたグレープは、各ホームでサポートに入ったなど4ホームが一つとなり子どもたちの家庭での暮らしを守ることが出来た。
- ・こどもだけではなく、こどもの家族のサポートも行った。学校の行事やむぎのこの行事にも一緒に参加し、家庭にお母さんがいるのがつらいときなどには、ミモザと一緒に食事をするなど家族まるごとのサポートを行った。
- ・こどもたちや実母、実父の気持ちを汲み取りながら、親子の面会や交流、泊まりなどを見相と連携し行った。また、その後の気持ちのケアなども必要に応じて行った。

〔展望〕

- ・こどもたちが地域での安定した暮らしを出来るように、子ども家庭暮らし部門、学校担任、むぎのこクラス担任や見相など各関係機関と連携し、安心と安全を守っていく。また、社会的養護やこどもの権利そして発達や愛着関係の学びも継続していく。
- ・今年度も引き続き、コロナの感染対策で 検温、手洗い、うがい、消毒、共有部や床の消毒、換気、湿度管理などを行っていく。
- ・来年度4月に自立する子どもがいるため、自立に向けての不安の受け止め、解決や準備などを希望を聞きながら行っていく。
- ・むぎのこの里親家庭25組のサポートをファミリーホームベテールと一緒に歩いていき、子どもたちと里親さんの困り感に寄り添いながら、安心して暮らせるようにサポートを行う。

グレープ〈ファミリーホーム〉

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
措置	4	6	6	5	6	6	6	6	6	6	6	6	5.75
一時保護	0	0	0	1	2	0	1	2	2	1	1	1	0.83
計	4	6	6	6	8	6	7	8	8	7	7	7	6.58
前年度													

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	102	141	180	197	209	180	200	220	241	217	196	195	2278

2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者兼養育者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
養育補助者	常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
養育補助者	非常勤	2	3	3	3	3	3	4	4	3	3	3	3
合計		5	6	6	6	6	6	7	7	6	6	6	6

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・4月からファミリーホームとしてスタートした。法人にはすでにファミリーホームが2ホームあるため、相談や連携しながら子どもたちが安心と安全に暮らすことが出来るように協力することが出来た。また、グレープに各ホームからサポートが入るなど4ホームが一つとなり子どもたちの家庭での暮らしを守ることが出来た。

- ・子どもだけではなく、子どもの家族のサポートも行った。学校の行事やむぎのこの行事にも一緒に参加し、お母さんの転居準備のときなどには、グループで一緒に食事をするなど家族まるごとのサポートを行った。
- ・子どもたちや実母、実父の気持ちを汲み取りながら、親子の面会や交流、泊まりなどを見相と連携し行った。また、その後の気持ちのケアなども必要に応じて行った。

〔展望〕

- ・子どもたちが地域での安定した暮らしを出来るように、子ども家庭暮らし部門、学校担任、むぎのこクラス担任や見相など各関係機関と連携し、安心と安全を守っていく。また、社会的養護やこどもの権利そして発達や愛着関係の学びも継続していく。
- ・今年度も引き続き、コロナの感染対策で 検温、手洗い、うがい、消毒、共有部や床の消毒、換気、湿度管理などを行っていく。
- ・長期的に支援を必要とする子どもたちであるため、不安の受け止め、愛着の形成、家族再統合に向けた支援を継続していく。

## VII 医療・地域・相談部門

### 相談室セーブネス

#### 1. 施設利用状況

##### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区 市 町 村	4 月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	449	451	459	473	479	484	499	513	519	531	534	546	495
北区	45	45	45	55	56	56	58	60	60	60	65	66	56
西区	2	2	2	1	1	1	1	1	1	3	3	3	2
南区	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白石区	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
豊平区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
中央区	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
手稲区	4	4	4	5	6	6	7	7	7	7	7	7	6
厚別区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
清田区	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市外	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	1
計	512	514	522	544	552	557	575	591	597	612	620	633	569

##### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4 月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	707	700	772	577	663	825	781	784	760	737	644	1074	9024

## 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
相談支援専門員	常勤	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3
相談支援専門員	兼任	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
相談員	常勤	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
相談員	兼任	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
地域支援員	常勤	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
地域支援員	兼任	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1
合計		8	8	8	7	7	8	8	8	8	8	8	8

## 3. 支援業務

### (1) サービス等利用計画案、サービス等利用計画の策定

- ・ アセスメントに基づきサービス等利用計画案を作成。
- ・ サービス担当者会議に基づき、サービス等利用計画を作成。

### (2) 主な日中活動

- ・ 基本相談支援
- ・ アセスメント
- ・ サービス等利用計画案の作成
- ・ サービス担当者会議の開催
- ・ サービス等利用計画の作成
- ・ モニタリングの実施

## 4. 施設設備管理業務

・  
・

## 5. 防災対策

### (1) 防火管理者の状況

職名	火気取扱責任者	氏名	田中 佳子	選任届出年月日	2021年4月1日

### (2) 非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
・ ・	避難・消火・通報・救出・その他	・ ・	避難・消火・通報・救出・その他
・ ・	避難・消火・通報・救出・その他	・ ・	避難・消火・通報・救出・その他
・ ・	避難・消火・通報・救出・その他	・ ・	避難・消火・通報・救出・その他
・ ・	避難・消火・通報・救出・その他	・ ・	避難・消火・通報・救出・その他
・ ・	避難・消火・通報・救出・その他	・ ・	避難・消火・通報・救出・その他
・ ・	避難・消火・通報・救出・その他	・ ・	避難・消火・通報・救出・その他

## 6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
サービス担当者会議	計画作成時		3回	相談支援専門員他		
要保護児童対策地域協議会	随時		9回	相談支援専門員他		
ケース会議	随時		56回	相談支援専門員他		
自立支援協議会 (事務局会議含む)	毎月1回	35回		相談支援専門員他	10～ 15名	

## 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	
	なし	

## 8. 評価と展望

### 〔評価〕

- ・障がい種別に関係なく、札幌市の障がい児・者又は家族の日常生活の相談、金銭管理、福祉サービス、就労支援、精神的支援に訪問、来所、電話、メールで応じた。各種福祉サービス申請に関わる援助をし、区役所、児童相談所、教育相談、病院、学校、法律事務所などの同行支援等を行った。計画相談として、サービス等利用計画の作成をした。
- ・札幌市自立支援協議会、札幌市自立支援協議会東区部会に参加した。障がい有無に関わらず、互いに理解し、共生できる地域を目指すことを目的に研修等を行った。関係機関との連携で、要保護家庭や保護者に障がいがある家庭、子どもに障がいがある家庭への支援を行った。
- ・地域支援員の委託を受け、保育士さん等と協力し、民生児童委員、福祉協力員の方と一緒に地域に浸透するよう活動した。民生委員からの相談ケースもでてきており、連携することができた。

### 〔展望〕

- ・今後も本人主体の相談を心がけ、人権を尊重した支援を行う。
- ・児童発達支援センター、児童相談所、病院、まあち、保健センター、学校等の関係機関と連携する。
- ・本人そして家族を大事にする相談室を目指す。

## むぎの子ども相談室

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	198	198	198	198	199	199	199	199	199	199	199	201	198
北区	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63
西区	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
南区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
中央区	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
手稲区	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
石狩市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
当別町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	275	275	275	275	276	276	276	276	276	276	276	278	

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	8	27	29	19	27	32	28	30	16	13	12	37	278

### 2. 職員配置状況

(人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

相談支援専門員	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
事務	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

### 3. 支援業務

#### (1) サービス等利用計画案、サービス等利用計画の策定

- ・アセスメントに基づきサービス等利用計画案の作成
- ・サービス担当者会議に基づき、サービス等利用計画の作成
- ・基本相談支援
- ・アセスメント
- ・サービス担当者会議の開催
- ・モニタリングの実施

### 4. 施設設備管理業務

- ・火災報知器、消火器、誘導灯の点検(法定点検年2回)

### 5. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
法人職員会議	毎月1回	12回		相談支援専門員	1名	
子ども相談室会議	毎月1回	12回		相談支援専門員・事務員	2名	
サービス担当者会議			随時	相談支援専門員・児童発達支援管理責任者等	2名以上	

### 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	特になし	特になし

### 8. 評価と展望

#### 〔評価〕

- ・家族のニーズに合わせて、各事業所や委託の相談室等と連携しながら、サービスの更新や変更等の支援や、新規申請にもすぐに対応していった。
- ・同意をもらう計画を立て、前年度よりも本計画やモニタリングを請求に繋げられる件数が増えたが、件数が少ない月もあり請求が少ない月もあった。
- ・計画相談の手続きとして、①保護者が区役所に申請に行く、②申請後、計画相談の依頼という流れが保護者の方で理解していない方がいるので、まずは保護者が区役所に申請の手続きを行うことを伝えながら、難しい場合は代理申請等の支援を行なった。

#### 〔展望〕

- ・今後も子ども達や家族に寄り添いながら、必要な支援にすぐに繋げられるように計画相談を行い、また本計画とモニタリングの請求件数を増やしていく。
- ・月平均30件以上本計画やモニタリングを出せるようにして、請求を増やしていく。
- ・地域療育等支援事業や、地域支援マネージャー、委託の相談室等とも連携しながら、地域支援や家族支援を行っていく。
- ・各機関や事業所、担当者と連携しながら、スムーズにサービスの利用に繋がったり、子どもや家族の困り感に寄り添い、支援していく。
- ・幼児期から放課後等へや、児童から成人へのサービスの切り替えを切れ目なく行えるように、早めに申請等の声掛けを行っていく。

# 居宅介護事業所むぎのこ

## 1. 施設利用状況

### (1) 利用契約者数

#### 居宅介護

(単位 人)

市区町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	155	155	156	154	152	148	149	147	145	146	145	141	149.4
北区	10	10	10	10	9	10	9	9	9	9	9	9	9.4
西区	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.3
手稲区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	167	167	168	165	162	159	159	157	155	156	155	151	160.1
前年度	149	154	150	149	159	150	156	147	152	158	162	138	152

#### 行動援護

市区町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	44	44	45	45	44	44	44	44	43	41	41	42	43.4
北区	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6.5
豊平区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0.8
手稲区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
計	53	53	54	54	53	53	52	52	51	48	48	49	51.7
前年度	44	45	43	44	47	43	46	46	47	51	49	32	44.75

#### 移動支援

市区町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	79	79	78	81	82	82	84	82	81	78	79	79	80.3
北区	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0.6
西区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
手稲区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
計	80	80	79	82	83	84	86	84	83	80	81	81	81.9
前年度	68	70	72	69	74	67	67	66	75	71	72	64	69.58

### (2) 利用延べ人数

#### 居宅介護

(単位 人)

月	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
合計	478	406	553	536	490	592	589	557	534	502	390	560	6187
前年度	491	539	596	577	490	591	621	523	541	491	521	614	6595

#### 行動援護

月	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
合計	55	37	49	50	44	50	53	57	36	43	28	41	543
前年度	23	26	33	33	36	43	58	55	69	51	41	44	512

#### 移動支援

月	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
合計	193	172	214	175	153	222	230	217	197	132	139	192	2236

前年度	128	73	271	287	204	258	276	242	253	151	210	248	2601
-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

## 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者	常勤・兼務	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サービス提供責任者	常勤	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
登録ヘルパー	非常勤	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36
合計		40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40

## 3. 支援業務

### (1) 個別支援計画の策定

- ・アセスメントに基づきサービス等利用計画案の作成
- ・年1回作成した介護計画を保護者に説明して同意を得る。
- ・モニタリングの実施

### (3) 主な日中活動

- ・アセスメント
- ・介護計画の作成
- ・モニタリングの実施
- ・居宅介護事業（食事介助・入浴介助・排泄介助・家事援助・行動援護等）
- ・移動支援事業（外出時における移動中介助・排泄・食事の介助）
- ・養育支援員派遣事業

## 4. 施設設備管理業務

- ・消火器の点検

## 5. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
職員会議	毎月第1木曜	12回		管理者・サービス提供責任者	4名	
権利擁護・虐待防止委員会	月1回	12回		管理者	1名	
感染防止委員会	月1回	12回		サービス提供責任者	1名	
苦情処理委員会	年3回			管理者	1名	
環境整備委員会	月1回	12回		サービス提供責任者	1名	

## 6. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	

## 7. 評価と展望

〔評価〕

- ・令和3年6月より養育支援員派遣事業が始まった。
- ・通院や家事援助などの日中の支援が増えている。
- ・コロナ陽性などでキャンセルが出た場合は、ほかの利用者さん宅に訪問できるようにした。
- ・状況に応じて各部署が集まって支援会議を行う事で、利用者さんの情報を共有でき、ヘルパーの支援内容の方向性が決まり支援することが出来た。
- ・ヘルパー時、マスクの着用、手指消毒、食事介助の時のグローブの使用を徹底し、感染予防に

努めた。

〔展望〕

- ・医療的ケアが必要な利用者さんが増えてきている。たん吸引の研修を受け医療的ケアが出来るようにしていく。
- ・通学支援の時間帯、年齢に応じた同性介助ができるようにスケジュール調整を行い利用者さんのニーズに答えられるようにする。
- ・登録ヘルパーさん対象の研修を計画し実施する。
- ・引き続きCSPを用い効果的な褒め方をして肯定的な関わりを行っていけるように努める。

## むぎのこ発達クリニック

### 1. 施設利用状況

- ・1年間の受診者数 13,490人 1日平均50.7人  
(紹介状：505通 特別児童扶養手当診断書：556通  
国民年金診断書(精神障害用)：118通 福祉手当診断書：75通  
自立支援意見書：34通 精神通院医療診断書：7通  
デイサービス診断書：66通 発達・知能検査レポート文書：503通  
保育園幼稚園加配診断書：33通 アレルギー診断書：10通  
保育園診断書：14通)
- ・インフルエンザ予防接種 847人 その他文書：21通
- ・定期・任意の予防接種(定期接種：250人 任意接種：47人)

### 2. 健康管理業務

#### (1) 医療体制

- ・通常の診療体制が、その月によって生じる体制変更の内容は、むぎのこ掲示板とジャンプレッツに掲示している。また、クリニックだよりのお知らせ欄には、確実に記載していく。
- ・療育中のけがにおいては、診療を最優先にして即時に対応した。
- ・特定の整形外科等とは、今後も協力いただけるよう、日頃の連携を大切にしていた。

#### (2) 健康管理

- ・職員の健康診断を、早期に済ませられるようスケジュールに沿って確実に受けられる手配を手早くした。
- ・秋には、法人全体の健康診断状況や結果をチェックして必要時個別に対応した。
- ・各事業所の感染対策、衛生管理等の意識付けをタイミングをみて行った。
- ・市内の感染症や法人内の罹患状況を把握して、できるだけ迅速に対応して蔓延防止に努めた。

### 3. 施設設備管理業務

- ・セコムに引き続き依頼して、防犯対策を行った。
- ・設備の点検・補修等は、辻野建設にすぐに対応していただいた。
- ・施設周囲の点検・整備はこまめに行い、近隣とのコミュニケーションの目的としても意識して行った。

### 4. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
医師	非常勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
診察補助者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

診察補助者	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ST/OT/心理療 療法者	常勤	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
ST/OT/心理療 療法者	非常勤	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
事務員	常勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
事務員	非常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
合計		24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24

## 5. ボランティアの受入

・特になし

## 6. 実習生・介護等体験の受入

むぎのこ実習生に対して、クリニックでの各種療法や親子教室の見学など、クリニックの位置づけを通して、依頼時には随時対応した。

## 7. 障害者自立支援法による事業の整備

むぎのこ利用児・者の他にも、福祉資源を有効に活用できるよう情報提供と、必要時診断書および意見書の作成・調整・相談を行った。

## 8. 人事労務・給与制度等(全事業共通)

人事労務管理	異動事項特になし
給与制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉職員処遇改善助成金による処遇改善の実施</li> <li>・最低賃金改定に伴い時間給を改善</li> <li>・みなし労働制を導入</li> </ul>
職員福利厚生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員福利厚生の充実のため、パートタイム職員も含め、福利厚生センター（ソエルクラブ）への加入を促進した。</li> <li>・全職員に対する定期健康診断を実施した。</li> <li>・腰痛検査を実施した（直接処遇職員）。</li> </ul>

## 9. 職員研修

### (1) 法人・事業所内研修

日時	主催者	研修会名称	参加職員数
4/1	むぎのこ	法人研修	9名

日時	主催者	研修会名称	参加職員数
9/6～8	日本作業療法士協会	第53回日本作業療法学会	1名
2/4,10,17,25, 3/3,5,11,15,18,22	リハテックスリンクス 株式会 社	「育ち」に介入する小児作業療法士基本 シリーズ-全10回 LIVE 配信-	1名

## 10. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
全体会議	月1回	12回	0回	クリニック全職員	7～8名	

## 11. 財務・事務管理(全事業共通)

情報公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業所に事業・法人の報告・計画、決算・予算等を開示した。</li> <li>・ホームページを全面更新し、情報発信を強化した。</li> <li>・後援会と連携し、日常の様子を公開に努めた。</li> </ul>
個人情報保護と共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子データを外部メディア等に複写すること等の禁止を徹底した。</li> <li>・電子データは専用サーバーに保存し、職員のみVPN接続で共有した。</li> </ul>
苦情対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情処理要綱により、各事業が迅速に対応した。</li> </ul>
業務の効率化・コスト削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本部配置職員(パートを含む)を増員し、各事業の共通業務を一元管理した。</li> </ul>

	・各事業所のパソコンを随時更新・追加し、業務の効率化を図った。
契約の公正・透明性の確保	・利用契約は担当職員によって公正に契約した。 ・経理系契約は入札を含め、経理規程を遵守した。
事務管理の適正化	・法人職員と各事業所事務担当職員との連携を図った。
第三者評価	・第三者評価は実施していない。

## 12. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
月		

## 13. その他特記事項

法人内の医療事業としての意識をもって、むぎのこ年間スケジュールにより沿った連携が取れたと思う。今後は、より具体的な内容・意識を持って連携が取れればと思う。

## 14. 評価と展望

### (1)心理療法・査定（アセスメント）

令和3（2021）年度心理支援業務報告 報告者 公認心理師・臨床心理士 吉村実保

令和3（2021）年度の心理士の体制は、常勤公認心理師：吉村実保，非常勤公認心理師：秋田有紀子・加藤香子・野畑隆子・福原尚子・水上真理子の5名が勤務した。

#### ① 個人心理療法

心理療法の方法は、各セラピストの専門性により、実際の行動の改善を目的とするアプローチ（認知行動療法，遊戯療法，精神分析的トラウマ療法）、心の中の対人関係の改善やコミュニケーションの向上を目指すアプローチ（発達期の認知行動療法，遊戯療法）、支持的心理療法など様々あるが、セラピストは個々のクライアントのニーズや問題を十分考慮した上で、そのクライアントに適した支援を行った。

秋田は、4名に実施した。内容は、認知機能アップと社会性の向上1名，緘黙のコミュニケーショントレーニング1名，ネガティブな感情言語化と人慣れ1名，人慣れと内省1名だった。

水上は、5名に実施した。内容は、性被害，不登校，親の対人・愛着問題だった。

吉村は、10名に実施した。内容は、感情表現の拡大，発達促進のための遊戯療法，アサーティブなコミュニケーションの向上，怒りと衝動性のコントロールだった。

合計 19 ケース

#### ② 心理査定

各種（発達・知能・心理）検査は、子ども【新版K式発達検査，WISC-IV，田中ビネー知能検査，描画をはじめとした心理検査 etc】、成人【WAIS-III，田中ビネー知能検査 etc】を実施した。

##### a) 新版K式発達検査

秋田（7），加藤（75），福原（17），吉村（90），クリニック支援（105）

合計 294 ケース

##### b) 田中ビネー知能検査（全訂版，V）

秋田（48），加藤（72），野畑（43），福原（1），吉村（198），クリニック支援（9）

合計 371 ケース

##### c) ウェクスラー式知能検査（WISC-IV・WAIS-III）

秋田（13），加藤（8），吉村（47），クリニック支援（6）

合計 74 ケース

##### d) その他発達検査（遠城寺式・乳幼児分析的発達検査など）

加藤（2），吉村（3）

合計 5 ケース

##### e) 質問紙法による心理検査（MMPI，YG，TEG，MAS etc）

合計 0 ケース  
f) 投映法による心理検査 (HTP, PF スタディ, 風景構成法, バウム, ロールシャッハ etc)  
吉村 (3)

合計 3 ケース  
g) 神経心理学的検査 (フロスティグ視知覚発達検査, ベンダーゲシュタルト検査, Rey 複雑図形検査)  
秋田 (6), 吉村 (7)

合計 13 ケース  
h) 発達心理学的検査 (グッドイナフ人物画知能検査)  
秋田 (8), 加藤 (27), 吉村 (16)

合計 51 ケース

### ③ 集団精神療法

開始前にセンターと事業、パンジーの担任の先生と打ち合わせをしたうえで、方法はそれぞれの集団の特徴を考慮し、SST、ロールプレイ等の認知行動療法や集団プレイセラピーを組み合わせて実施した。

今年度実施した小集団は、合計10グループだった (隔週1回40~50分)。

センターぞう組 (パンジー含) : 4グループ (4人/秋田, 7人/加藤, 9人/水上, 7人/吉村)

事業シーランチ組 : 2グループ (15人/加藤)

事業ヨシア組 : 3グループ (8人/加藤, 9人/水上)

事業ライラック組 : 3グループ (7人/秋田, 8人/吉村)

保育園組 : 4グループ (1人/秋田, 3人/加藤)

水上は通院する児の親10名に愛着のパターン別の勉強会グループを実施した。

## (2) 障害児・者リハビリテーション

### 1. 令和3(2021)年度言語聴覚業務報告

言語聴覚士 矢田 麻貴 結城佳生里

#### I. “言語聴覚士業務計画”に基づく実施報告

##### ① 言語評価

医師の指示の下、コミュニケーションに関する客観的ならびに主観的評価を実施し、親への説明、相談を行った。評価後は必要に応じて指導へと移行した。

##### ② 言語指導

R3(2021)年度末時点での言語聴覚療法対象児の総数は名(矢田110名 結城88名 198名)(むぎのこ利用児・外来含む)であった。子どもの状態に応じて、40分間の個別指導を主とした言語指導、構音(発音)指導、AAC(拡大・代替コミュニケーション)指導、摂食指導を行った。定期的に、医師を交えて親への内容・経過報告、方針再検討等の機会を設けた。

※3月で終結また新規開始予定児や評価のみも含む。

##### ④ 摂食指導

従事した対象児は0名。

### 2. 令和3(2021)年度作業療法士業務報告

作業療法士 大坪 光保 鳥越 夕妃 松田 京 木村 彩花 保科このみ  
運動機能面(粗大動作・巧緻動作・協調運動など)・行動面・情緒面・認知面等に発達上の困難さがある子どもについて、医師の指示のもと評価し、1回40分~60分、週1回または2週間に1回、月1回の設定で作業療法(個別機能訓練)を実施した。また、作業療法評価のみを実施し、結果を診察時にお伝えして経過観察とする例もあった。

札幌市より、社会福祉法人麦の子会が指定管理を受けたことにより、札幌市みかほ整肢園でのリハビリテーション業務を大坪と保科が兼務した。

大坪:106例 鳥越:4例 松田:28例 木村:93例 保科:12例 (計:243例)

### 3. 令和3(2021)年度理学療法業務報告

理学療法士 松原鮎香

運動機能面(粗大運動・協調運動など)・行動面・情緒面・認知面等に発達上の困難さがある子どもについて、医師の指示のもと評価し、1回40分～60分、週1回または2週間に1回、月1回の設定で理学療法(個別機能訓練)を実施した。2か月に一度ジャンプレッツの方が来て健康体操などの実施やトリニティへ行き理学療法(個別機能訓練)を実施した。また、理学療法評価のみを実施し、結果を診察時にお伝えして経過観察とする例もあった。

松原：18例 (計：18名)

(2) 親子教室

午前：週2回、午後：週3回、未就園児から市内の保育園・幼稚園に通っている未就学児までを対象とし、親子教室(クリニック母子支援事業)を、医師、公認心理師、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、看護師とともに実施した。

(3) むぎのこ児童発達支援センター、児童発達支援事業むぎのこの連携

・月1回、落合作業療法士の来園訓練に合わせ、パンジー組の訓練対象児への関わり方を指導いただき、都度、パンジー組通園児を中心に、センター・事業それぞれの通園児らの運動機能・生活技能・認知機能の獲得、維持、向上を図るためそれぞれ個別に関わり、直接的または間接的に発達支援を行った。

(4) クリニック他職種との連携

医師、公認心理師、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、看護師と、都度、対象者についての報告・相談を行い、毎月のクリニック全体会議の中で情報交換をし他職種とのより円滑な業務連携が図られるよう努めた。

**当別町子ども発達支援センター発達支援専門職員派遣業務**

1. 施設利用状況

(1) 支援回数

(単位 人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
合計	1	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	1	6
前年度	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	2	1	6

2. 支援業務

(1) 業務

- ・当別町子ども発達支援センターにおける、発達評価および専門指導
- ・当別町子ども発達支援センターの指導業務における指導及びスーパーバイズ

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
心理士	常勤	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1	1

3. 評価と展望

- ・当別町子ども発達支援センターに対し発達評価および専門指導を積極的に実施した。
- ・当別町子ども発達支援センターのニーズに合わせ、細かく、柔軟に専門支援を実施した。
- ・当別町子ども発達支援センター関係者(保護者、児童館職員)への講義を実施した。

**西尾リプロセス心理臨床研究所**

2021年度事業実施報告

1. 建物整備

- ・2022年1月31日 西尾記念ビル及びニシオ・キネン・ホール完成
- ・2022年2月12日 西尾記念ビル及びニシオ・キネン・ホール竣工式開催

## 2. 研修・教育・研究

- ・2022年2月11日 リプロセスカウンセラー養成講座開催  
西尾リプロセスリトリートのカウンセラー資格取得のための養成講座を開催した  
参加者：4名 於：西尾記念ビル2階 ニシオ・キネン・ホール
- ・同日 研究所主催のリプロセスリトリートの1Dayワークショップ開催  
参加者：8名 於：西尾記念ビル2階 ニシオ・キネン・ホール
- ・所員主催のワークショップ開催補助  
開催地 仙台1回
- ・トラウマとその周辺領域に関する学会及び研修会参加  
日本子ども虐待防止学会第27回学術集会かながわ大会（2021.12.4～12.5）参加者2名
- ・日本EMDR学術大会（2021.9.23）参加者1名
- ・日本EMDR継続オンライン研修会（2021.10.2～10.3）参加者1名
- ・研修会開催  
第1回 2021.9.20 『トラウマの理解と回復のあり方を生活に取り入れる』  
講師：西澤奈穂子先生  
（アライアント国際大学 PsyD. カリフォルニア心理臨床大学院）  
申込 143名  
第2回 2021.11.7 『発達障害と愛着障害の介入アプローチの共通性と違いについて』  
講師：黒川新二氏（黒川メンタルクリニック院長）  
米澤好史氏（和歌山大学教育学部教授）  
司会：小野善郎氏（和歌山精神保健センター所長）  
申込 273名

## 3. ホームページの運営

ホームページでトラウマケアの必要性和リプロセスリトリートを周知する機会とし、研修やワークショップの開催を案内した。

## 4. 運営委員会

運営委員会 Zoomにより実施

2021年7月6日  
2021年8月10日  
2021年9月14日  
2021年10月5日  
2021年11月2日  
2021年12月7日  
2022年1月16日  
2022年2月8日

# 妊娠SOS事業

## 1. 相談件数

電話、LINE、メール 24時間365日対応  
開設2021.6月から2022.3月末で 延べ相談件数 475件  
相談者実人数 261人

## 2. 居場所支援 LILJA(リリア) 開設 R4.3.10

- (1) LILJA(リリア) 開設前にもニーズがあり法人所有施設の空き部屋を活用して臨時的居場所支援を実施した 利用実績 3名
- (2) 主な支援内容
  - ・生活支援、病院同行、心理支援、栄養指導、育児指導、妊娠期からの支援

## 3. コンサルテーション

一般社団法人ベアホープより毎週火曜日に1～2時間実施

## 4. 研修参加

日	研修名	開催地	参加者
2021.11.5	予期しない妊娠への相談対応研修 (パート1基礎編)	札幌市	5人
2022.1.28-30	第4回FLECフォーラム(ZOOMで参加)	東京都	1人

## 5. 出張講座の実施

日	講座名	対象者	講師
2021.8.17	「いのちの教育・性の教育」	麦の子会利用の児童111名と保護者・職員30名	秋野恵美子先生
2021.3.8	「正しい性知識」	麦の子会利用の児童40名と職員8名	静岡大学 白井千晶先生

## 6. ホームページの運営

- ・RelativeWorksに新しいホームページの制作と運営委託した。

## 7. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
		12回				

## 8. その他

- ・2022年3月10日に「にんしんSOSさっぽろ妊産婦居場所LILJA(リリア)」の開所式を開催した。日本財団様、厚生省こども家庭局様、北海道児童相談所様、札幌市未来局様が出席。

## 9. 評価と展望

〔評価〕

- ・にんしんSOSさっぽろ職員が中心となり法人全体で24時間365日対応する事ができた。
- ・コロナで延期になったが無事に「妊産婦居場所LILJA(リリア)」の開所式が開催する事ができた。今後、困難な妊産婦を支える為に連携や協力をお願いする関係機関と密に繋がる事ができた。
- ・電話があり緊急性を察知し相談員が駆けつけた妊婦が救急車で病院に搬送されすぐに出産となり母子共に命を守る事ができた。
- ・新規事業で日々困難にぶつかりながら、コンサルテーション先や法人全体で妊娠に関わる悩んでいる相談者を支えた。

〔展望〕

- ・誰にも相談できない孤立している妊婦が相談しやすいように敷居に低い相談窓口を目指す。
- ・次の支援につながるように信頼関係を築けるように寄り添う支援を続けていく。
- ・なにより0日虐待の防止。命を守れるように努めていく。
- ・望まぬ妊娠を予防する為に正しい性教育、緊急避妊薬の情報を伝えていく。
- ・潜在的な相談者に配布したリーフレット、妊娠相談カード、ステッカーが届くような仕組み、広報活動、周知を考えていきたい。